

クラブ活動計画書

平成 25 年 7 月

2013～2014年度



RI 第2780地区

大和中ロータリークラブ

会 長 岸 幸 博

事務局 大和市大和南2丁目1番1号
〒242-0016 大和中央ビル 301

TEL 046-262-1717

FAX 046-262-1818

幹 事 中 島 康次郎

例会場 八千代銀行大和支店4F

E-mail naka-office @ ynrc.jp

ホームページ <http://www.ynrc.jp/>

2013～2014年度

クラブ活動計画書

平成25年 7 月

2013～2014年度 国際ロータリーテーマ



Engage Rotary Change Lives

『ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を』

RI 会長 ロン D. バートン

第2780地区 相澤 光春 ガバナー 方針

1. RI会長テーマの推進
2. RI会長重点事項の推進
 - (1) 会員増強(拡大) 各クラブ10%純増の目標
 - (2) ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実
 - (3) ロータリーファミリーを通じたネットワークの強化
3. 未来の夢計画の推進
4. RI戦略計画の推進
5. 地区研修委員会、クラブ研修委員会の充実
6. 奉仕活動推進(3年後)のためロータリー財団年次寄付1人当りUS\$200ドル以上の目標
 - ／ポリオ撲滅の推進(1人当たりUS\$40ドル以上)
 - ／世界平和フェローシップの支援
7. 米山奨学金への1人当り20,000円以上の寄付目標
8. 新世代育成の推進 ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ新設目標
9. ガバナー補佐の役割、責務
10. 地区幹事・副幹事の役割、責務
11. 地区・クラブ役員の18カ月活動環境作り
12. 東日本大震災復興への支援

2013～2014年度 大和中ロータリークラブ 会長ターゲット

キラリと光る ロータリー

大和中RC会長 岸 幸博

2013～2014年度

クラブ活動計画書

目 次

本年度の運営方針	3
会 務 報 告	4～12
大 和 市 略 図	12
会 計	13～15
委員会活動計画	16～38
管理運営委員会	16
(イ) R情報・クラブ研修委員会	16
(ロ) クラブ会報委員会	17
(ハ) プログラム委員会	17
年間プログラム予定表	18～25
(ニ) 親睦活動委員会	26
(ホ) スマイルボックス委員会	27
(ヘ) 出席委員会	27
会員増強・会員維持委員会	28
(イ) 職業分類担当	28
(ロ) 会員選考担当	28
職業分類一覧表	29～31
会場監督 (S A A)	32
奉仕プロジェクト委員会	33
(イ) 職業奉仕委員会	34
(ロ) 姉妹クラブ友好担当	34
ロータリー財団委員会	35
(イ) 米山奨学委員会	36
公共イメージ委員会	37
同 好 会	38
ゴルフ同好会	38
(別表)	
(1) 役員・理事・委員会構成表	39
(2) 大和中ロータリークラブ会員名簿	40～42
(3) 歴代会務分担表	43～44
(4) 大和中ロータリークラブ クラブ運営規定集 (定款・細則・内規)	47～63

「キラリと光る ロータリー」

世の中は絶えず変化しています。私たちも、ロータリーも変わっていく心構えが必要です。

前年度は35周年と言う節目の年で、リノベーション35の基、諸規定、内規、会計予算等について、多くの改革をしました、特に青少年育成基金の問題は永年のテーマでしたが運営の方針ができ今年度から新たに運営委員会を設け奉仕活動の柱になるよう育てていきたいと思います。ロンD・バートン2013-14年度RI会長は「ロータリーを実践し みんなに 豊かな人生を」テーマにしました、ノミニーの時には「私のビジョンは一人ひとりのロータリアンがロータリアンでよかったと思えるようすること、戦略計画と未来の夢はそれを可能にしてくれるはずです」と話されました。また皆さんは、ロータリーの、襟ピンを身につけることを選択しました。これからどうするかは、皆さん次第です、と言っています。

相澤光春ガバナーは、楽しくロータリアンでよかったと思える運営を、又奉仕の実践、公共イメージと認知度向上を目指し各クラブには、ロータリーはクラブが基本であり、各クラブに活力がなければクラブの活性化は勿論、地区、RIの活性化にはならないと言っています。今年度も例会を充実させ、会員皆で時には地域の人たちと一緒に奉仕活動が出来れば、公共イメージも認知度も向上します。1回限りでなく、何年も継続することにより小さな光でも大きな光になっていきます。会員一人ひとりが地域でキラリと光れば、多くの仲間が集まってきます、ぜひ皆様のご協力を宜しくお願いします。

会長の運営方針を支持するとともに、その目標達成のために例会の充実、活発な奉仕活動に各委員長・会員の皆様と努力してまいります。

会 務 報 告

幹 事 中 島 康次郎

1. クラブの沿革

創 立 総 会
R. I. 承 認
チャーターナイト
(認証状伝達式)
スポンサークラブ
特 別 代 表
ガ バ ナ ー
チャーターメンバー
(創立会員)
所 在 地 域
事 務 所

例 会 場

昭和53年 5 月 9 日 (1978年) 於大和市商工会館三階
昭和53年 6 月23日 (1978年)
昭和54年 4 月22日 (1979年) 於厚木基地

大和ロータリークラブ
星 幸 男 氏
細 谷 実 氏
23名

大和市 (別紙)
大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号 大和中央ビル301
電話 046(262)1717 FAX 046(262)1818

- ・ 昭和53年 5 月 9 日～昭和56年 6 月30日
大和市商工会館 3 階会議室
 - ・ 昭和56年 7 月 1 日～昭和63年 4 月30日
(旧) 八千代信用金庫大和支店 4 階会議室
 - ・ 昭和63年 5 月12日～平成20年 5 月22日
大和グランドホテル 7 階
 - ・ 平成20年 6 月12日～ 八千代銀行大和支店 4 階会議室
- 毎週木曜日

例 会 日

2. 会員の種類

正 会 員 42名
名 誉 会 員 0 名

3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジター及びゲスト数、入会金、年会費一覧表

年 度	人 口 (人)	会員数 (年度始め)	平均出席率	ビジター及びゲスト数 (含仮クラブ)	入 会 金	年 会 費
昭和53年	159,718	23名	100%	80名	100,000円	168,000円
53～54年	159,963	22名	99.76%	484名	100,000円	168,000円
54～55年	164,748	28名	98.12%	496名	100,000円	168,000円
55～56年	167,318	30名	98.59%	532名	100,000円	168,000円
56～57年	169,530	40名	99.96%	519名	100,000円	168,000円
57～58年	171,440	42名	99.1 %	519名	100,000円	168,000円
58～59年	173,338	49名	99.27%	548名	100,000円	168,000円
59～60年	174,497	45名	99.74%	656名	100,000円	168,000円
60～61年	176,953	55名	99.23%	634名	100,000円	168,000円
61～62年	179,941	50名	99.48%	585名	100,000円	168,000円
62～63年	183,303	51名	100 %	675名	100,000円	168,000円
63～平成1年	187,564	59名	100 %	651名	100,000円	200,000円
平成1～2年	191,148	60名	99.92%	641名	100,000円	200,000円
2～3年	194,696	63名	99.97%	612名	100,000円	230,000円
3～4年	197,570	60名	99.83%	619名	100,000円	230,000円
4～5年	200,960	60名	99.61%	675名	150,000円	230,000円
5～6年	202,169	60名	99.35%	570名	150,000円	250,000円
6～7年	203,451	59名	99.48%	534名	150,000円	250,000円
7～8年	205,452	58名	99.40%	571名	150,000円	250,000円
8～9年	206,165	60名	97.46%	455名	150,000円	250,000円
9～10年	207,576	61名	96.42%	401名	150,000円	250,000円
10～11年	208,640	56名	94.04%	445名	150,000円	250,000円
11～12年	210,734	59名	94.22%	452名	150,000円	250,000円
12～13年	212,921	54名	96.69%	411名	150,000円	250,000円
13～14年	214,573	53名	97.60%	343名	150,000円	250,000円
14～15年	216,463	51名	98.00%	346名	150,000円	250,000円
15～16年	218,352	49名	90.58%	202名	100,000円	250,000円
16～17年	220,200	43名	96.22%	148名	100,000円	250,000円
17～18年	220,950	42名	93.06%	71名	100,000円	250,000円
18～19年	222,152	42名	91.47%	58名	100,000円	250,000円
19～20年	223,296	41名	89.52%	40名	100,000円	250,000円
20～21年	225,164	40名	89.45%	60名	100,000円	230,000円
21～22年	226,924	39名	84.15%	58名	100,000円	230,000円
22～23年	226,247	37名	87.15%	67名	100,000円	250,000円
23～24年	229,502	35名	88.84%	56名	100,000円	250,000円
24～25年	230,547	39名	87.59%	181名	100,000円	250,000円
25～26年		42名			50,000円	250,000円

4. 年度別クラブ会員入退会者数一覧表

年 度	会 長 名	入会者数	退会者数	増減数	年度末会員数
昭和53年 (1978)	矢 野 久 元	0	1	- 1	22
53～54年 (1978～1979)	矢 野 久 元 蜂 屋 良 平	13	7	+ 6	28
54～55年 (1979～1980)	芦 田 敬 治	3	1	+ 2	30
55～56年 (1980～1981)	亀 谷 志 郎	12	2	+ 10	40
56～57年 (1981～1982)	伊 藤 正 男	5	3	+ 2	42
57～58年 (1982～1983)	寺 田 五 六	12	5	+ 7	49
58～59年 (1983～1984)	長谷川 清 一	3	7	- 4	45
59～60年 (1984～1985)	猪 熊 唯 夫	13	3	+ 10	55
60～61年 (1985～1986)	上 田 利 久	2	7	- 5	50
61～62年 (1986～1987)	藤 田 重 成	5	4	+ 1	51
62～63年 (1987～1988)	富 澤 重 徳	11	3	+ 8	59
63～平成1年 (1988～1989)	石 渡 英二郎	4	3	+ 1	60
平成1～2年 (1989～1990)	北 砂 富 三	7	4	+ 3	63
2～3年 (1990～1991)	有 澤 昭 二	2	5	- 3	60
3～4年 (1991～1992)	松 本 忠 明	3	3	0	60
4～5年 (1992～1993)	辻 國 明	4	4	0	60
5～6年 (1993～1994)	伊 藤 英 夫	2	3	- 1	59
6～7年 (1994～1995)	古 木 勝 治	3	4	- 1	58
7～8年 (1995～1996)	高 橋 政 勝	4	2	+ 2	60
8～9年 (1996～1997)	土 屋 翁 三	3	2	+ 1	61
9～10年 (1997～1998)	後 藤 定 毅	2	7	- 5	56
10～11年 (1998～1999)	橋 本 健 彦	3	0	+ 3	59
11～12年 (1999～2000)	中 西 功	2	7	- 5	54
12～13年 (2000～2001)	近 藤 富士男	2	3	- 1	53
13～14年 (2001～2002)	鈴 木 久次郎	5	7	- 2	51
14～15年 (2002～2003)	前 原 一 男	3	5	- 2	49
15～16年 (2003～2004)	長 野 俊 八	1	7	- 6	43
16～17年 (2004～2005)	神 作 彰	1	2	- 1	42
17～18年 (2005～2006)	松 崎 正 実	5	5	0	42
18～19年 (2006～2007)	古 郡 清	2	3	- 1	41
19～20年 (2007～2008)	藤 塚 勝 明	2	3	- 1	40
20～21年 (2008～2009)	梅 田 秀 雄	1	2	- 1	39
21～22年 (2009～2010)	高 橋 清	3	5	- 2	37
22～23年 (2010～2011)	舘 盛 道 明	1	3	- 2	35
23～24年 (2011～2012)	石 川 健 次	4	0	+ 4	39
24～25年 (2012～2013)	横 澤 創	5	2	+ 3	42

5. 会員状況

a) 会員名簿一覧表 (別表(2))

b) 会員年齢構成 (25年7月1日現在)

40才台	4名	} 計 42名	最 高 年 齢 92才 最 年 少 41才 平 均 64.50才
50才台	9名		
60才台	16名		
70才台	9名		
80才台	3名		
90才台	1名		

c) クラブ在籍年数 (25年7月1日現在)

1年未満	5名	9年以上	1名	18年以上	0名
1年以上	4名	10年以上	1名	19年以上	1名
2年以上	1名	11年以上	1名	20年以上	1名
3年以上	1名	12年以上	1名	21年以上	0名
4年以上	1名	13年以上	0名	22年以上	1名
5年以上	1名	14年以上	1名	23年以上	1名
6年以上	1名	15年以上	0名	24年以上	1名
7年以上	3名	16年以上	0名	25年以上	15名
8年以上	0名	17年以上	0名	計	42名

d) 100%出席会員数 (25年7月1日現在)

32年間	2名	後藤、高橋(政)	10年間	2名	橋本、青柳
31年間	1名	松崎	9年間	1名	鈴木
30年間	2名	長野、神作	6年間	2名	小柳、中島
28年間	2名	中西、古郡	4年間	1名	入江
26年間	2名	藤塚、梅田	2年間	1名	辻
25年間	1名	高橋(清)	1年間	5名	原嶋、北島、梅野 北砂、石川(達)
23年間	1名	石川			
22年間	1名	横澤			
19年間	1名	山崎			
14年間	1名	館盛			
13年間	1名	岸			

6. 役員、理事、委員会構成メンバー (別表(1))

7. 理事会・例会・委員会

毎月第二例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。

例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。

定款第6条第1節(C)により年4回例会を取り止める。

尚、国の定めた祝祭日及び正月三ヶ日は休会とする。

各委員会は、活動打ち合わせのため適時委員会を開催する。

8. クラブ協議会 (クラブアッセンブリー)

- | | | |
|---------|----------------|-------------|
| ① 新年度 | ② ガバナー公式訪問2週間前 | ③ ガバナー公式訪問時 |
| ④ 地区大会後 | ⑤ 12月中 | ⑥地区協議会后 |
| | | ⑦ 年度末 |

9. ロータリー財団寄附状況（平成25年6月17日現在）

会 員

○ベネファクター

1	上 田 利 久 君	2	郡 司 守 君	3	中 西 功 君	4	後 藤 定 毅 君
5	高 橋 政 勝 君	6	神 作 彰 君	7	藤 塚 勝 明 君	8	梅 田 秀 雄 君
9	高 橋 清 君	10	館 盛 道 明 君	11	石 川 健 次 君	12	橋 本 日 吉 君
13	横 澤 創 君						

○マルチプルボールハリスフェロー

1	⑤藤 田 重 成 君	2	②古 木 勝 治 君	3	⑥高 橋 清 君	4	⑤上 田 利 久 君
5	③郡 司 守 君	6	③伊 藤 英 夫 君	7	④松 崎 正 実 君	8	⑤長 野 俊 八 君
9	②中 西 功 君	10	①高 橋 政 勝 君	11	③番 桂 柳 君	12	③梅 田 秀 雄 君
13	①後 藤 定 毅 君	14	②藤 塚 勝 明 君	15	④館 盛 道 明 君	16	②神 作 彰 君
17	②石 川 健 次 君	18	②山 崎 賢 二 君	19	②古 郡 清 君	20	横 澤 創 君
21	青 柳 文四郎 君	22	橋 本 日 吉 君	23	岸 幸 博 君	24	原 嶋 賢一郎 君
25	長谷川 清 君	26	③藤 田 方 巳 君				

○ボールハリスフェロー

1	後 藤 歩さん	2	鈴 木 洋 子 君	3	小 柳 智 裕 君	4	中 島 康次郎 君
5	北 島 照 介 君	6	梅 野 房 子 君	7	北 砂 安 子さん	8	北 砂 明 彦 君
9	入 江 公 敏 君						

北砂富三様のご遺族より、メモリアルとして2,000ドルのご寄附を頂きました（2012年3月）

○準フェロー

1	神 作 彰 君	2	梅 田 秀 雄 君	3	石 川 健 次 君	4	横 澤 創 君
5	藤 田 重 成 君	6	岸 幸 博 君	7	長 野 俊 八 君	8	松 崎 正 実 君
9	高 橋 清 君	10	後 藤 定 毅 君	11	藤 塚 勝 明 君	12	古 郡 清 君
13	高 橋 政 勝 君	14	上 田 利 久 君	15	館 盛 道 明 君	16	郡 司 守 君
17	伊 藤 英 夫 君	18	山 崎 賢 二 君	19	番 桂 柳 君	20	橋 本 日 吉 君
21	小 柳 智 裕 君	22	鈴 木 洋 子 君	23	中 島 康次郎 君	24	梅 野 房 子 君
25	古 木 勝 治 君	26	原 嶋 賢一郎 君	27	北 島 照 介 君	28	中 西 功 君
29	入 江 公 敏 君	30	青 柳 文四郎 君	31	阿 萬 正 巳 君	32	辻 彰 彦 君
33	引 田 俊 一 君	34	富 澤 克 司 君	35	橋 本 吉 宣 君	36	石 川 達 男 君
37	野 口 宏 君	38	長谷川 清 君				

(元会員・会員夫人)

○ベネファクター

1	芦 田 敬 治 君	2	長谷川 清 一 君	3	辻 國 明 君
---	-----------	---	-----------	---	---------

○マルチプルポールハリスフェロー

1	②亀 谷 志 郎 君	2	⑧長谷川 清 一 君	3	松 本 三 郎 君	4	⑥芦 田 敬 治 君
5	②有 澤 昭 二 君	6	二 見 長 幸 君	7	児 玉 清 君	8	②鈴 木 久次郎 君
9	土 屋 翁 三 君	10	辻 國 明 君	11	富 澤 重 徳 君	12	橋 本 健 彦 君
13	②近 藤 富士男 君	14	蒔 田 誠三郎 君	15	松 本 忠 明 君	16	石 田 忠 良 君
17	前 原 一 男 君	18	佐 藤 信 夫 君	19	②北 砂 富 三 君	20	②寺 田 五 六 君
21	飯 田 豊 太 君						

○ポールハリスフェロー

1	矢 野 久 元 君	2	伊 藤 正 男 君	3	布 施 光 雄 君	4	細 野 順 造 君
5	竹之内 弘 美 君	6	保 田 達 君	7	石 渡 みよ子 君	8	猪 熊 唯 夫 君
9	佐 藤 正 勝 君	10	茅 根 勉 君	11	清 水 洋 三 君	12	木 村 誠 二 君
13	加 藤 眞 義 君	14	本 田 博 司 君	15	上 村 幹 雄 君	16	石 渡 英二郎 君
17	柿 本 伊佐男 君	18	古田土 勝 美 君	19	小 林 勇 君	20	竹 原 繁 男 君
21	依 田 儀 一 君	22	牧 野 弘 君	23	目 黒 雄 介 君	24	小 野 孝 男 君
25	村 松 令 隆 君	26	蒲 生 文 衛 君	27	鈴 木 博 士 君	28	菊 池 康 公 君
29	棕 茂 廣 君	30	松 本 千 枝 夫人	31	塙 満 子 君		

○準フェロー

1	三 浦 泰 之 君	2	池 田 武 和 君	3	小 島 健 一 君	4	古 川 巖 君
5	竹 本 正 俊 君	6	千 田 徹 君	7	原 田 穆 君	8	古田土 勝 美 君
9	岩 田 一 夫 君	10	上 村 幹 雄 君	11	棕 茂 廣 君	12	竹 原 繁 男 君
13	石 渡 英二郎 君	14	星 輝 明 君	15	依 田 儀 一 君	16	山 下 精 一 君
17	山 口 敏 彦 君	18	迫 田 洋一郎 君	19	薩 田 信次郎 君	20	中 稻 隆 次 君
21	蒲 生 文 衛 君	22	中 村 彰 君	23	佐々木 万次郎 君	24	加 藤 眞 義 君
25	菊 地 康 公 君	26	木 村 誠 二 君	27	児 玉 清 君	28	土 屋 翁 三 君
29	橋 本 健 彦 君	30	佐 藤 伴 道 君	31	村 松 令 隆 君	32	阿 部 豪 一 君
33	近 藤 富士男 君	34	本 多 博 司 君	35	鈴 木 久次郎 君	36	鈴 木 博 士 君
37	小 倉 弘 君	38	高 橋 潔 君	39	間 山 進 也 君	40	水 落 悟 君
41	工 藤 俊 治 君	42	有 澤 昭 二 君	43	芦 田 敬 治 君	44	疋 田 哲 夫 君
45	小 林 勇 君	46	牧 野 弘 君	47	蒔 田 誠三郎 君	48	目 黒 雄 介 君
49	中 島 繁 男 君	50	小 野 孝 男 君	51	前 原 一 男 君	52	石 田 忠 良 君
53	松 本 忠 明 君	54	塙 満 子 君	55	佐 藤 信 夫 君	56	鎌 田 稔 君
57	北 砂 富 三 君	58	寺 田 五 六 君	59	小 菅 実 君	60	岩 松 薫 君
61	飯 田 豊 太 君						

10. 米山奨学金寄附状況（平成25年6月17日現在）

(1) 会 員

○米山功労者 マルチプル

1	⑦郡 司 守 君	2	⑦藤 田 重 成 君	3	⑦松 崎 正 実 君	4	⑥長 野 俊 八 君
5	④高 橋 政 勝 君	6	④伊 藤 英 夫 君	7	④藤 塚 勝 明 君	8	⑤後 藤 定 毅 君
9	④神 作 彰 君	10	④梅 田 秀 雄 君	11	⑤高 橋 清 君	12	③中 西 功 君
13	③古 郡 清 君	14	③館 盛 道 明 君	15	④上 田 利 久 君	16	②山 崎 賢 二 君
17	③青 柳 文四郎 君	18	③石 川 健 次 君	19	⑤原 嶋 賢一郎 君	20	②横 澤 創 君
21	④長谷川 清 君	22	③藤 田 方 巳 君				

○米山功労者

1	古 木 勝 治 君	2	番 桂 柳 君	3	岸 幸 博 君	4	橋 本 日 吉 君
5	小 柳 智 裕 君	6	鈴 木 洋 子 君	7	中 島 康次郎 君	8	入 江 公 敏 君

○準米山功労者

1	梅 野 房 子 君	2	入 江 公 敏 君	3	北 島 照 介 君	4	阿 萬 正 巳 君
5	辻 彰 彦 君	6	北 砂 明 彦 君	7	富 澤 克 司 君		

(2) 元会員

○米山功労法人

1	聖 和 電 設 (株) (古田土勝美君)	2	車 体 工 業 (株) (清水洋三君)	3	株式会社日本コンピュータユーセイジ (辻 國明君)
---	-------------------------	---	------------------------	---	------------------------------

○米山功労者 メジャードナー

1	②⑦長谷川 清一 君
---	------------

○米山功労者 マルチプル

1	⑥芦 田 敬 治 君	2	③有 澤 昭 二 君	3	③布 施 光 男 君	4	③橋 本 健 彦 君
5	③大 高 安 男 君	6	③富 澤 重 徳 君	7	③石 渡 英二郎 君	8	③上 村 幹 雄 君
9	③迫 田 洋一郎 君	10	③土 屋 翁 三 君	11	②近 藤 富士男 君	12	②村 松 令 隆 君
13	③鈴 木 久次郎 君	14	③松 本 忠 明 君	15	②前 原 一 男 君	16	⑤佐 藤 信 夫 君
17	⑤寺 田 五 六 君	18	②飯 田 豊 太 君				

○米山功労者

1	松 本 三 郎 君	2	小 島 建 一 君	3	薩 田 信次郎 君	4	本 田 博 司 君
5	加 藤 眞 義 君	6	蒔 田 誠三郎 君	7	茂 木 諄 三 君	8	石 田 忠 良 君

○準米山功労者

1	鎌 田 稔 君	2	北 砂 富 三 君				
---	---------	---	-----------	--	--	--	--

11. 歴代会務分担表（別表(3)）

12. 大和中ロータリークラブ運営規定集（定款・細則・内規）

13. 2013～2014年度地区役員・委員

地区諮問委員会	}	後藤	定毅	委員
地区指名委員会				
公共イメージ委員会		辻	彰彦	委員
奉仕プロジェクト委員会		舘盛	道明	社会奉仕副委員長
新世代委員会		横澤	創	委員
ロータリー財団委員会		藤塚	勝明	補助金配分委員長

14. 2013～2014年度国際ロータリー委員

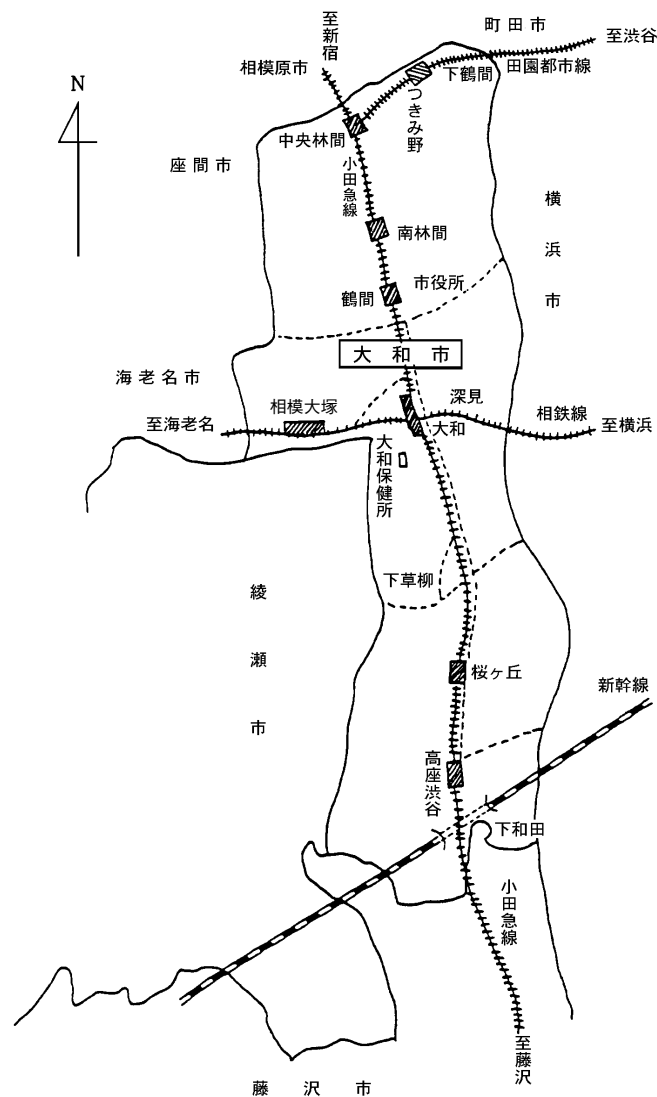
ロータリー財団地域コーディネーター補佐 後藤 定毅

16. 歴代ガバナー・(分区代理) ガバナー補佐・会長・幹事名 (敬称略)

年 度	ガ バ ナ ー	分 区 代 理	代	会 長	幹 事
昭 和 53 年 (1978)	細 谷 実 (藤沢北)	第359地区第6分区 松 村 松太郎 (座間)	初	矢 野 久 元	長谷川 清 一
53 ～ 54 年 (1978 ～ 1979)	蔵 並 定 男 (鎌倉)	第259地区第6分区 富 田 清次郎 (相模原南)	1	矢 野 久 元 蜂 屋 良 平	長谷川 清 一
54 ～ 55 年 (1979 ～ 1980)	伊 藤 茂 (相模原中)	塚 本 勉 (大和)	2	芦 田 敬 治	北 砂 富 三
55 ～ 56 年 (1980 ～ 1981)	加 藤 進 治 (横浜)	斎 藤 隆 寿 (座間)	3	亀 谷 志 郎	富 澤 重 徳
56 ～ 57 年 (1981 ～ 1982)	渡 辺 嘉造伊 (川崎南)	鹿 島 直 磨 (相模原中)	4	伊 藤 正 男	辻 國 明
57 ～ 58 年 (1982 ～ 1983)	加 藤 宗兵衛 (伊勢原)	小 沢 睦 (大和)	5	寺 田 五 六	郡 司 守 明 辻 國 明
58 ～ 59 年 (1983 ～ 1984)	加 島 淳 (横浜磯子)	第259地区第11分区 大 岩 真 (厚木)	6	長谷川 清 一	古 木 勝 治
59 ～ 60 年 (1984 ～ 1985)	津 田 進 (川崎北)	亀 谷 志 郎 (大和中)	7	猪 熊 唯 夫	伊 藤 英 夫
60 ～ 61 年 (1985 ～ 1986)	上 野 良 一 (横浜中)	真 崎 勇 (座間)	8	上 田 利 久	近 藤 富士男
61 ～ 62 年 (1986 ～ 1987)	小 林 亮 (相模原)	会 田 国 喜 (厚木中)	9	藤 田 重 成	土 屋 翁 三
62 ～ 63 年 (1987 ～ 1988)	岡 崎 全 宏 (横浜南)	川 島 熊 平 (大和)	10	富 澤 重 徳	高 橋 政 勝
63 ～ 平成 1 年 (1988 ～ 1989)	谷 口 栄 (横浜東)	大 貫 嘉 一 (厚木)	11	石 渡 英二郎	松 本 三 郎
平成 1 年～ 2 年 (1989 ～ 1990)	濱 田 勝 彌 (伊勢原)	第278地区第5分区 土 橋 亘 (大和田園)	12	北 砂 富 三	後 藤 定 毅
2 ～ 3 年 (1990 ～ 1991)	古 館 誠 (鎌倉大船)	第278地区第6分区 大 矢 晴 行 (大和)	13	有 澤 昭 二	中 西 功
3 ～ 4 年 (1991 ～ 1992)	山 道 昭 彦 (藤沢)	第2780地区第6分区 黄金井 一 太 (厚木)	14	松 本 忠 明	長 野 俊 八
4 ～ 5 年 (1992 ～ 1993)	生 沼 富 治 (小田原北)	手 塚 正 夫 (座間中央)	15	辻 國 明	前 原 一 男
5 ～ 6 年 (1993 ～ 1994)	山 本 淳 正 (逗子)	芦 田 敬 治 (大和中)	16	伊 藤 英 夫	神 作 彰
6 ～ 7 年 (1994 ～ 1995)	神 崎 正 陳 (茅ヶ崎湘南)	世 古 晴 次 (海老名)	17	古 木 勝 治	古田土 勝 美
7 ～ 8 年 (1995 ～ 1996)	真 崎 勇 (座間)	三 河 政 夫 (座間中央)	18	高 橋 政 勝	上 村 幹 雄
8 ～ 9 年 (1996 ～ 1997)	河 本 親 秀 (大磯)	石 川 範 義 (厚木中)	19	土 屋 翁 三	松 崎 正 実
9 ～ 10 年 (1997 ～ 1998)	小 山 計 玄 (伊勢原)	山 下 恵 代 (座間)	20	後 藤 定 毅	古 郡 清
10 ～ 11 年 (1998 ～ 1999)	後 藤 忠 雄 (横須賀南)	道 岸 唯 一 (大和)	21	橋 本 健 彦	藤 塚 勝 明
11 ～ 12 年 (1999 ～ 2000)	中 山 達二郎 (綾瀬)	加 藤 一 郎 (厚木)	22	中 西 功	蒲 生 文 衛
12 ～ 13 年 (2000 ～ 2001)	小 沢 一 彦 (横須賀)	笠 松 歳 雄 (大和田園)	23	近 藤 富士男	梅 田 秀 雄
13 ～ 14 年 (2001 ～ 2002)	竹 内 万 也 (秦野)	辻 国 明 (大和中)	24	鈴 木 久次郎	高 橋 清
14 ～ 15 年 (2002 ～ 2003)	鹿 島 直 磨 (相模原中)	第2780地区第6グループ 山 本 淳 一 (厚木)	25	前 原 一 男	石 川 健 次

年 度	ガ バ ナ ー	ガ バ ナ ー補佐	代	会 長	幹 事
15 ～ 16 年 (2003 ～ 2004)	中 西 功 (鎌倉西)	奥 唄 宏 一 (大和)	26	長 野 俊 八	蒔 田 誠三郎
16 ～ 17 年 (2004 ～ 2005)	松 宮 剛 (茅ヶ崎湘南)	山 際 正 道 (座間中央)	27	神 作 彰	館 盛 道 明
17 ～ 18 年 (2005 ～ 2006)	仲 田 昌 弘 (鎌倉中央)	塩 塚 幸 彦 (厚木中)	28	松 崎 正 実	鈴 木 博 士 明 館 盛 道 明
18 ～ 19 年 (2006 ～ 2007)	西 田 隆 (座間中央)	後 藤 定 毅 (大和中)	29	古 郡 清	横 澤 創
19 ～ 20 年 (2007 ～ 2008)	小佐野 圭 三 (横須賀)	吉 岡 敏 (厚木)	30	藤 塚 勝 明	山 崎 賢 二
20 ～ 21 年 (2008 ～ 2009)	山 地 裕 昭 (足柄)	金 知 出 (座間中央)	31	梅 田 秀 雄	岸 幸 博
21 ～ 22 年 (2009 ～ 2010)	奥 津 光 弘 (秦野中)	高 橋 晃 (海老名)	32	高 橋 清	飯 田 豊 太
22 ～ 23 年 (2010 ～ 2011)	後 藤 定 毅 (大和中)	佐々木 辰 郎 (大和田園)	33	館 盛 道 明	鈴 木 洋 子
23 ～ 24 年 (2011 ～ 2012)	森 洋 (横須賀北)	菊 地 孝 夫 (海老名譽)	34	石 川 健 次	橋 本 日 吉
24 ～ 25 年 (2012 ～ 2013)	菅 原 光 志 (鎌倉)	壽 永 純 昭 (厚木)	35	横 澤 創	入 江 公 敏
25 ～ 26 年 (2012 ～ 2013)	相 澤 光 春 (ふじさわ湘南)	佐々木 和 夫 (大和)	36	岸 幸 博	中 島 康次郎

大 和 市 略 図



会 計

古 郡 清

当クラブの会計予算は、①一般会計予算、②奉仕会計予算、③周年記念事業積立金予算、④青少年育成基金予算、⑤別途準備金予算がありますが、一般会計予算は数年前より会員数の減少により支出を抑える予算組をしています。

そこで会員の増強が図られており、順調に会員数が増えています。今年度も一層の会員増強をお願いします。奉仕会計予算としてはスマイルのより一層のご協力をお願いします。

1. 本年度の諸会費の内訳及び納入期限は、下記の通りと致します。

(1)	入	会	金	50,000 円	入会時に納入
(2)	年	会	費	250,000 円	年 2 回に分割
(3)	周 年 記 念 事 業 積 立 金			12,000 円	年 2 回に分割
(4)	ス マ イ ル ボ ッ ク ス			12,000 円	年 2 回に分割
(5)	臨	時	会 費		随 時

上記のうち (2). (3). (4). の納入日は、それぞれ7月1日及び1月1日です。

会費等は現金・小切手の持参もしくは銀行振込で納入してください。

2. 会費等の振込先は下記の銀行口座とします。

銀 行 名 八千代銀行 大和支店

口座番号 普通預金 0711972

口座名義 大和中ロータリークラブ 会計 古 郡 清

3. 当クラブの 2013 ～ 2014 年度会計予算は、別紙の通りとします。

4. 理事会の要求があった場合、及び年度末に理事会に対しクラブの全てに関する会計報告を致します。

5. その職務に通常付随する任務を行います。

2013～2014年度 一般会計予算

(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(単位 円)

科 目		予 算	備 考
収入の部	前年度繰越金	0	
	年会費	10,750,000	前期@125,000円×42人 後期@125,000円×44人
	入会金	100,000	@50,000円×2人
	ビジター会費	100,000	@2,500×40人
	雑収入	15,000	預金利息等
合 計		10,965,000	
支出の部	クラブ運営費	例会費	3,594,000 例会食事代（配膳料を含む）
		理事会費	70,000
		クラブ協議会費	10,000
		事務局費	1,080,000 (80,000円+交通費10,000円) ×12ヶ月
		事務所賃借料	@75,000円×12ヶ月
		渉外費	対外慶弔費・幹事会、賛助金等
		慶弔費	クラブ内慶弔費
		贈答費	記念品、お礼
		通信費	電話代、FAX代、振込料、ネット代、切手代、HP接続料
		図書費	「友」、「ザ・ロータリアン」購読料他
		印刷費	活動計画書、ポケット名簿等印刷代
		文具費・備品費	コピー機等事務機メンテナンス、消耗品、事務用文具等
		雑費	
		小 計	7,580,000
	クラブ奉仕	出席委員会	60,000 皆出席記念品
		クラブ会報委員会	180,000 作成費用
		親睦活動委員会	350,000
		プログラム委員会	250,000
		公共イメージ委員会	125,000 H P管理費用
		ロータリー情報委員会	50,000
		会員増強・会員維持	100,000
		他のクラブ奉仕委員会	10,000
		小 計	1,125,000
	地区費	地区資金	1,032,000 前期@12,000円 ×42人 後期@12,000円 ×44人
		地区大会分担金	315,000 @7,500円×42人
		地区協議会費	104,000 登録料 @8,000円×13人
		I・M分担金	352,000 @8,000円×44人
		米山奨学会	215,000 前期@2,500円 ×42人 後期@2,500円 ×44人
		小 計	2,018,000
	PTA負担金	人頭分担金	227,800 前期@US\$27×42人 後期@US\$26×44人
		小 計	227,800
	予備費		14,200
合 計		10,965,000	

2013～2014年度 奉仕会計予算

(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(単位：円)

	科 目	予 算	摘 要
収入の部	前 年 度 繰 越 金	3,196,968	予定
	ス マ イ ル	1,500,000	例会スマイル
	雑 収 入	600	預金利息
	合 計	4,967,568	
支出の部	職 業 奉 仕	100,000	
	奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	950,000	
	姉 妹 ク ラ ブ 友 好	300,000	
	記 念 品 代	250,000	
	青少年育成基金に繰り入れ	1,000,000	
	予 備 費	2,097,568	
	合 計	4,697,568	

周年記念事業積立金会計予算

(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(単位：円)

	科 目	予 算	摘 要
収入の部	前 年 度 繰 越 金	2,044,813	
	会 員 積 立 金	516,000	前期@6,000円×42人 後期@6,000×44人
	雑 収 入	500	預金利息
	合 計	2,561,313	

2013～2014年度 青少年育成基金予算

(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(単位：円)

	科 目	予 算	摘 要
収入の部	青 少 年 育 成 基 金 よ り	1,156,729	
	奉 仕 会 計 よ り	1,000,000	
	合 計	2,156,729	
支出の部	青 少 年 育 成 基 金	300,000	
	繰 越 金	1,856,729	
	合 計	2,156,729	

別途準備金予算

(単位：円)

	科 目	予 算	摘 要
	前 年 度 繰 越 金	987,151	予定
	雑 収 入	500	
	合 計	987,651	

管理運営委員会

担当役員 伊 藤 英 夫
委 員 各担当委員長

○活動方針

会員相互の理解を深め、親睦を計り友情が芽生え信頼へと変わり、各委員会の活発な活動が出来る雰囲気作りをしたいと務めます。

○実施計画

各委員会より提出された活動計画が円滑に実施されるよう協力し推し進めることにより、充実したクラブ運営が出来るよう努力します。

(イ) ロータリー情報・クラブ研修委員会

委員長 横 澤 創
研修リーダー 藤 塚 勝 明
副委員長 石 川 健 次
委 員 後 藤 定 毅
委 員 岸 幸 博

○活動方針

人は皆、潜在的な魅力を秘めています。ましてやロータリアンは、地域のリーダーであり、企業の経営者であり、あるいは専門職業人として立派な仕事をされている、潜在的魅力を十分に兼ね備えた人たちの集まりです。

しかし、私たちはその人の潜在的魅力に気がつかないままの日常を送っていませんか。ロータリーという場を共有しながら、その人の魅力に気づかぬまま時間が通り過ぎていくことは残念なことです。

人生観、経営観、職業観を語り合うことは、魅力発見の第一歩です。大いに語り合うことで、潜在的魅力は顕在化し、単なる知り合いから、肝胆相照らす友情に発展するのではないのでしょうか。ポール・ハリスが4人の仲間と語り合った原点こそ、信頼と友情を基盤とするロータリーの普遍的真実であります。

会長ターゲット「キラリと光るロータリー」は、ロータリアンの「キラリと光る魅力発見」と心得、委員会を運営致します。

○実施計画

1. 夜間ミーティングとし、食事とお酒を楽しみながらリラックスした雰囲気の中、大いに語り合う場と致します。
2. 会場は中島さんの御厚意により、大和式礼の会議室をお借りいたします。ただし開催日は、友引前日に限らせていただきます。(駐車場完備)
3. 入会年度の浅い会員を対象と致します。ただし、会員であればどなたでも参加大歓迎です。
4. 開催は、年3～4回程度と致しますが、リクエストが多ければ増やします。
5. 会費は一回当たり2千円程度とします。
6. その他、クラブ研修リーダーを中心に、年間を通じて全会員に向け情報の提供、研修機会の提供を図ります。

＝（ロ）クラブ会報委員会＝

委員長 北 砂 明 彦
副委員長 石 川 達 男
委 員 長 野 俊 八
阿 萬 正 巳

○活動方針

クラブ例会内容やクラブ活動について、解り易く、正確に記録・保存をしてまいります。

○実施計画

すべての会員に例会やクラブ活動においてどのようなことが行われているか、正しく伝えられるよう記録してまいります。

また、その場の雰囲気も伝えられるよう写真を使い、解り易くしてまいります。

一か月、出席なく、クラブ会報がたまった場合に、その会員にクラブ会報を送り、情報を伝えます。

＝（ハ）プログラム委員会＝

委員長 梅 田 秀 雄
副委員長 北 島 照 介
委 員 後 藤 定 毅
阿 萬 正 巳

○活動方針

本年度の会長ターゲットであります「キラリと光るロータリー」を念頭に置き、例会の中で特に重要な卓話については多くの会員にお願いすると共に、広く各界で活躍されている方のお話も伺い、魅力ある例会プログラムになるよう努めてまいります。

会員のご協力をお願いいたします。

○実施計画

- （１）出席して楽しい、そして会員相互の見識をより広める機会となるプログラムを組みます。
- （２）ロータリー活動月間に即したプログラムを構成し、ロータリーの理解を深める時間とします。
- （３）親睦活動委員会と連携して、随時、夜間例会を設け、会員のお祝いや親睦を図ります。

年間プログラム予定表

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
7 月	4	木	12:30	例会（1673 回） 挨拶 第 1 回クラブ協議会	「就任にあたり」 岸 幸博会長 中島康次郎幹事 「年度始めにあたり」	会長・幹事
	11	木	12:30	例会（1674 回） クラブフォーラム	青少年基金について	会長・幹事
	18	木	12:30	例会（1675 回） クラブフォーラム	「クラブ管理運営について」	クラブ管理 運営委員会
	25	木	12:30	例会（1676 回） 第 2 回クラブ協議会	「ガバナー公式訪問に備えて」 佐々木和夫ガバナー補佐を囲んで	会長・幹事
8 月	1	木	12:30	例会（1677 回） 卓話 ゲストスピーカー	大和市自治会連絡協議会 会長 高橋輝久 氏	会長・幹事
	8	木	12:30	例会（1678 回） 第 3 回クラブ協議会	ガバナー公式訪問 「相澤光春ガバナーを迎えて」	会長・幹事
	15	木	取り止め例会（クラブ定款第 6 条第 1 節（C）による）			
	22	木	18:30	例会（1679 回） 夜間例会	会員増強について	会員増強 会員維持 委員会
	29	木	12:30	例会（1680 回） 卓話 ゲストスピーカー	施政方針 「これからの大和市政について」 大和市長 大木 哲 氏	会長・幹事
9 月	5	木	第 1 回家族会に振替休会			
	8	日		例会（1681 回） 第 1 回家族会		親睦活動 委員会
	12	木	12:30	例会（1682 回） 卓話	青少年奉仕について	地区青少年 奉仕委員会
	19	木	12:30	例会（1683 回） 卓話 ゲストスピーカー	「学校における国際交流」 大和西高校教頭 高橋伸一 氏	プログラム
	26	木	12:30	例会（1684 回） 卓話		

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	配 偶 者			
7 /11 (木) 定例理事役員会 7 /25 (木) クラブ協議会 「ガバナー公式訪問に備えて」	2 原嶋 24 郡司	29 北砂仁美		1 小柳 1 藤田 (方) 17 高橋 (清) 20 石川 (達)	5 野口 7 北砂 10 後藤 23 高橋 (清)
会員増強および維持月間 8 / 8 (木) 定例理事役員会 8 / 8 (木) ガバナー公式訪問	4 高橋 (政) 12 古木 30 館盛	9 山崎桂子 20 池澤香織	8 石川 (達) 22 小柳 27 北砂	4 長谷川	3 石川 (健) 17 中西
青少年 (新世代) のための月間 9 /12 (木) 定例理事役員会	18 辻 18 長谷川	2 藤塚昭子 6 富澤志津子 26 郡司禎子 28 古郡京子	15 松崎	1 後藤 1 引田 10 入江 24 辻	9 長野

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
10 月	3	木	12:30	例会（1685 回） クラブフォーラム ゲストスピーカー	「米山月間にあたり」	米山奨学 委員会
	10	木	12:30	例会（1686 回） 卓話 ゲストスピーカー	大和駅東側第四地区 市街地再開発組合 理事長 蒲生文衛 氏	プログラム
	17	木	12:30	例会（1687 回） 卓話	「地域家族しんちゃんハウス」 NPO 法人 理事長 館合みち子 氏	職業奉仕 委員会
	24	木	10月26・27日地区大会の振替休会			
	26 27	土 日	例会（1688 回） 地区大会 グランドホテル湘南 藤沢産業センター 藤沢市民会館			
	31	木	18:30	例会（1689 回） 夜間例会 第 4 回クラブ協議会	地区大会を終えて	会長・幹事
11 月	7	木	11月10日移動例会の振替休会			
	10	日		例会（1690 回） 移動例会	地引網 茅ヶ崎サザンビーチ	奉仕 プロジェクト 委員会
	14	木	12:30	例会（1691 回） クラブフォーラム	「ロータリー財団月間にあたり」	ロータリー 財団委員会
	21	木	12:30	例会（1692 回） 卓話 ゲストスピーカー	大和市観光イベント協会 事務局長 星野俊江 氏	プログラム
	28	木	12:30	例会（1693 回）		
12 月	5	木	12:30	例会（1694 回） 会員卓話	年次総会 「理想のクラブとは」 後藤定毅 PG	会長 プログラム
	8	日		例会（1695 回） 移動例会	3 クラブ合同交通安全教室	奉仕 プロジェクト 委員会
	12	木	12月 8 日移動例会の振替休会			
	19	木		例会（1696 回） 第 2 回家族会	クリスマス家族会 横浜港ナイトクルーズ	親睦活動 委員会
	26	木	12:30	例会（1697 回） 第 5 回クラブ協議会	「半期を終えて（半期報告）」	会長・幹事

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	配偶者			
職業奉仕・米山月間 10/10(木) 定例理事役員会 10/26(土) 地区大会 グランドホテル湘南 藤沢産業センター 10/27(日) 地区大会 藤沢市民センター	4 小柳 18 北砂 26 藤田(方)	24 梅田安代 27 神作道江	7 岸 18 入江 20 郡司 22 北島 24 梅田 30 藤田(方)	1 中島 18 石川(健)	13 入江 16 藤塚 18 古木 26 中島 28 引田 30 高橋(政)
ロータリー財団月間 11/10(日) しらかし会地引網 11/14(木) 定例理事役員会	9 梅野 12 野口	6 番枝美子 16 藤田(方) 真佐子 21 梅野義信 27 石川(達) 智子 27 野口陽子 29 高橋(政) 瑠璃子	3 後藤 10 阿萬 11 橋本(吉) 18 山崎 21 橋本(日)	1 鈴木 1 野口 6 北砂 13 橋本(日) 27 郡司 30 池澤	1 北島 1 竹内 10 梅野
家族月間 12/8(日) 交通安全教室 12/12(木) 定例理事役員会	5 岸 18 山崎	3 岸 君子 4 館盛礼子 24 中西多恵子 30 辻 明美	14 長野 23 野口	10 松崎 20 原嶋	1 長谷川 3 松崎 8 郡司 10 館盛

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
1 月	2	木		取り止め例会（クラブ定款第6条第1節（C）による）		
	9	木	12:30	例会（1698回） 挨拶	「年頭にあたり」岸 幸博 会長	会長
	16	木		1月17日移動例会の振替休会		
	17	金		例会（1699回） 移動例会	四クラブ合同賀詞交歓会	会長・幹事
	23	木	12:30	例会（1700回） 卓話	「ロータリー理解推進月間に あたり」	
	30	木	12:30	例会（1701回） クラブフォーラム	「IMに向けて」	IM 実行委員会
2 月	6	木	12:30	例会（1702回） クラブフォーラム	「IMに向けて」	IM 実行委員会
	9	日		例会（1703回） 第6グループIM（大和中RCホスト） ホテルオークラフロンティア海老名		
	13	木		2月9日移動例会の振替休会		
	20	木	18:30	例会（1704回） 夜間移動例会		会長・幹事
	27	木	12:30	例会（1705回）		
3 月	6	木	12:30	例会（1706回）	大和市国際化協会 理事長 小木曾 明 氏	姉妹クラブ 友好委員会
	13	木	12:30	例会（1707回） 卓話 ゲストスピーカー	3.11 東日本大震災に思う 大和市消防本部	プログラム
	20	木	12:30	例会（1708回） 卓話 ゲストスピーカー	「大和で子どもたちと共に歩む」 －多文化共生社会を目ざして－ NPO 法人 AJAPE 代表 高橋悦子 氏	奉仕 プロジェクト 委員会
	27	木	12:30	例会（1709回） 卓話	「イニシエーションスピーチ」	プログラム

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	配 偶 者			
ロータリー理解推進月間 1 /16 (木) 定例理事役員会	1 引田 4 松崎 9 竹内 19 梅田 21 長野 21 北島 23 上田 28 富澤	1 石川(健) 早百合 11 橋本(吉) 絵里奈 12 小柳恵美子 20 長谷川真起子 23 上田郁代 23 伊藤克枝 24 橋本(日) 誠子 29 松崎祐子	7 梅野 17 伊藤 21 藤田(重) 26 古木	1 中西 16 古木 17 伊藤	1 藤田(方) 6 山崎 8 鈴木 12 富澤
世界理解月間 2 / 9 (日) 第6グループ I M オークラフロンティア海老名 2 /13 (木) 定例理事役員会	2 石川(健) 4 橋本(吉) 7 中西 12 高橋(清) 13 池澤 14 入江 15 青柳	17 古木磯子	20 石川(健)	25 上田	28 古郡
識字率向上月間 3 /13 (木) 定例理事役員会	5 横澤 6 神作 18 伊藤 19 古郡 31 番	21 高橋(清) 田鶴子 22 青柳恵美子 27 阿萬真美子	3 池澤 17 中島 19 中西 21 青柳 31 神作	1 古郡 8 横澤 9 竹内	1 石川(達) 1 橋本(吉) 3 神作 4 岸 15 橋本(日) 28 小柳

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
4 月	3	木	18:30	例会（1710 回） 夜間移動例会		会長・幹事
	10	木	4 月13日移動例会の振替休会			
	13	日		例会（1711 回） 第 3 回家族会		親睦活動 委員会
	17	木	12:30	例会（1712 回） クラブフォーラム	「ロータリー雑誌月間にあたり」	公共 イメージ 委員会
	24	木	12:30	例会（1713 回） 卓話		
5 月	1	木	取り止め例会（クラブ定款第 6 条第 1 節（C）による）			
	8	木	12:30	例会（1714 回） 卓話	「創立記念日にあたり」	会長・幹事
	15	木	12:30	例会（1715 回） 卓話 ゲストスピーカー	「持続可能な自立循環型リサイ クルループの形成について」	奉仕 プロジェクト 委員会
	22	木	12:30	例会（1716 回） 卓話 第 6 回クラブ協議会	「次年度へ向けて」 会長エレクト 山崎賢二 会員	会長エレクト
	29	木	12:30	例会（1717 回） 卓話	「イニシエーションスピーチ」	プログラム
6 月	5	木	12:30	例会（1718 回）		
	12	木	12:30	例会（1719 回） 第 7 回クラブ協議会	「年度終了にあたり」	会長・幹事
	19	木	12:30	例会（1720 回） 挨拶	「1 年を顧みて」 岸 幸博 会長 中島康次郎 幹事	会長・幹事
	26	木	取り止め例会（クラブ定款第 6 条第 1 節（C）による）			

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	配偶者			
ロータリー雑誌月間 4 /10 (木) 定例理事役員会	2 阿 萬	10 横澤たづ子	2 藤塚	1 番	1 辻
	11 藤塚	11 後藤久子	3 上田	1 藤田(重)	9 梅田
	20 鈴木	21 北島光代	10 高橋(政)	1 梅田	9 阿萬
		30 藤田(重) アサ	13 竹内	1 岸	18 番
			18 古郡	1 山崎	20 原嶋
			29 横澤	1 高橋(政)	
			29 長谷川	1 青柳	
				8 館盛	
				29 梅野	
5 / 8 (木) 定例理事役員会	13 石川(達)	11 中島條子	13 辻	17 藤塚	1 池澤
	15 藤田(重)	11 竹内晴美	18 館盛	22 北島	
	15 橋本(日)	29 入江普美	21 番	23 富澤	
	22 中島		27 高橋(清)		
趣味職業別親睦活動月間 6 /12 (木) 定例理事役員会	11 後藤	9 長野富美子	1 富澤	5 橋本(吉)	13 横澤
				10 神作	19 青柳
				21 長野	23 伊藤
				28 阿萬	23 上田
					23 藤田(重)

＝（二）親睦活動委員会＝

委員長	石川健次
副委員長	長谷川清
	橋本吉宣
委員	石川達男
	竹内彰
	野口宏
	藤田方巳
	池澤利男

○活動方針

ロータリーの原点は親睦と言われています。会員のみならずご家族にも積極的に参加頂くことでロータリー活動をご理解頂けるよう計画します。親睦活動を通じて、今年度の岸会長ターゲット「キラリと光るロータリー」の具現化に協力します。

○実施計画 ⇒ 日程。内容は都合により変更の場合もあります。

（１）家族例会を年３回企画・実施します。

①第１回 家族例会

日時 2013年9月8日（日）

②第２回 家族例会

日時 2013年12月19日（木）

③第３回 家族例会

日時 2014年4月13日（日）

（２）各記念日に心のこもったお祝いのプレゼントをご用意します。

①本人誕生日 ②配偶者誕生日 ③結婚記念日 ④創業記念日 ⑤入会記念日

（３）クラブが楽しくなるような雰囲気作りに気を配ります。

①S A Aに協力して、例会運営がスムーズにいくように務めます。

②ゲスト・ビジターを快くお迎えし、指定の席に案内します。

③ソングリーダーを担当します。Rソングや誕生日の歌等C D操作を担当します。

④移動例会や夜間例会での懇親会を担当します。

⑤その他、お祝い事があればお祝いの会を開催いたします。

（４）他の委員会の要請があれば、その活動に全面的に協力します。

===== (ホ) スマイルボックス委員会 =====

委員長 山 崎 賢 二
副委員長 郡 司 守

○活動方針

スマイルが奉仕事業の原資であることはご存じのとおりです。故に目標額、に対する達成率はクラブの体質そのものを表すと言っても過言ではないのかも知れません。また、笑顔（スマイル）は文化のバロメーター（抜粋のつづりNo.60）。照れ笑い・苦笑い・思い出し笑い、何でも結構です。楽しいスマイルを沢山お待ちしております。クラブの文化度を示しましょう。

===== (ヘ) 出席委員会 =====

委員長 松 崎 正 実
副委員長 青 柳 文四郎

○活動方針

ロータリー活動の原点は例会にあり、その例会に出席出来るのは会員に限られています。出席は会員の義務であり、そして権利でもあります。その権利を徹底していくよう活動してまいります。

○実施計画

- （１）個人個人の出席率を把握して頂き、自分なりのより良い出席率に挑戦して頂けるようメイクアップの方法などの情報を提供していきます。
- （２）家族会、地区大会、I M、合同例会などの各種行事への参加を積極的に呼びかけ、個人並びにクラブの出席率の向上に心掛けます。
- （３）クラブ内規に従い、皆出席者の表彰を行います。

===== 会員増強・会員維持委員会 =====

担当理事 館 盛 道 明 委 員 竹 内 彰
副委員長 野 口 宏 藤 田 方 巳

○活動方針

岸会長年度、大和中ロータリークラブ創立 36 年目を迎え、諸規定、内規、会計予算等多くの改革を得ました。本年度は改革された、諸規定の実行ある年度だと思います。

会員増強・会員維持委員会におきましては、新入会員の増強、そして会員維持においては親睦をはかり、楽しいクラブライフの実現の為に全ての会員の皆様にご協力をお願いする次第です。

○実施計画

- (1) クラブ会員数の 10%純増を目標に、全会員に増強のご協力をお願い致します。
- (2) 会員増強のための例会を開催します。(夜間例会)
- (3) 各会員の人脈内容の理解をふかめます。
- (4) 職業分類担当と協力し、未充填職業の情報を豊かにします。
- (5) 他団体との情報交換に務めます。

===== (イ)職業分類担当 =====

担当委員長 青 柳 文四郎
副委員長 郡 司 守

○活動方針

クラブ細則にのっとり、地域社会の職業分類を調査して検討します。

○実施計画

- (1) 8 月 31 日までに充填・未充填の職業分類を調査し、職業分類表を作成して会員に配布します。
- (2) 会員増強委員会・会員選考担当と連携し、理事会に報告します。

===== (ロ)会 員 選 考 担 当 =====

担当委員長 上 田 利 久 副委員長 中 西 功

○活動方針

1927 年 ウォール街を襲った経済的恐慌 ブラックマンデー、そしてまたシカゴ暗黒街のボス アルカポネとの対決の中で敢然と立ち上がった当時のシカゴ ワン……職人気質旺盛な専門職業人としての誇り、ゆとり、優しさ、そしてやる気 I will この総てを締めくくって Vocational Service 職業奉仕と呼ぼうよ、とすることで決着がついたと言われています。

○実施計画

心地よい節度の中で、共に楽しめる仲間を、伝統が出来つつある我が大和中 RC の皆さんと一緒に職業奉仕を語り、そして友を探しに行きましょう。

職業分類一覧表

(平成25年7月1日)

職業分類	会員名	事業所名
外科 医	番 桂 柳	大和中央外科
脳神経外科 医	引 田 俊 一	ライラッククリニック
内科 医		
小児科 医	上 田 利 久	ウエダ小児科
産婦人科 医		
眼科 医		
歯科 医		
獣 医	松 崎 正 実	つきみ野松崎動物病院
普 通 銀 行	竹 内 彰	(株)八千代銀行 大和支店
郵便事業		
不動産賃貸	高 橋 政 勝	(有)高橋
〃	長谷川 清	(有)長谷川商事
損害保険	北 砂 明 彦	(株)オーシャニック
生命保険	小 柳 智 裕	(有)F Pブレイン
弁 護 士		
司法書士		
社会保険労務士		
税 理 士	阿 萬 正 巳	阿萬正巳税理士事務所
経営コンサルタント		
工業薬品販売		
紳士服販売		
家具販売		
家庭用電気器具販売		
書籍販売		
新聞販売		
茶 販 売	梅 田 秀 雄	(株)渡邊園
酒 類 販 売		
コンビニエンスストア		

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	伊 藤 英 夫	(有)イトウ
中 華 料 理	石 川 健 次	(株)北京飯店
日 本 料 理		
フ レ ン チ レ ス ト ラ ン		
パ ン ・ ケ ー キ 製 造 販 売		
和 菓 子 製 造 販 売		
ホ テ ル 業		
ク リ ー ニ ン グ 業		
観 光 事 業		
自 転 車 販 売	長 野 俊 八	サイクルセンターナガノ
ビ ル 管 理		
自 動 車 販 売		
自 動 車 整 備		
ガ ソ リ ン ス タ ン ド		
印 刷 業	石 川 達 男	大塚印刷(株)
機 械 部 品 製 造	後 藤 定 毅	フジ工業(株)
設 備 機 械 輸 出		
電 子 部 品 製 造		
宗 教 家	舘 盛 道 明	定方寺
画 農 業	古 木 勝 治	古木農園
幼 稚 園		
学 習 塾		
運 送 業	古 郡 清	(有)緑運輸
物 流 代 行 業	神 作 彰	石井運輸(株)
不 動 産 管 理	山 崎 賢 二	(有)山崎事務所
不 動 産 取 引		
貸 ビ ル 業	富 澤 克 司	(有)惣永商事
貸 倉 庫	高 橋 清	(有)文が岡商事
〃	郡 司 守	(株)ゲンジ
インテリアコーディネーター		
建 築 設 計		
鉄 骨 建 築	藤 田 重 成	藤田商事(有)

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
土 木 業		
木 造 建 築	藤 塚 勝 明	(有)藤塚工務店
住 宅 建 築		
屋 根 工 事 業	藤 田 方 巳	(株)フジ工業
総 合 建 設 業	横 澤 創	ニッケン建設(株)
住 宅 設 備	岸 幸 博	岸木工(有)
建 具 製 造 販 売		
冷 暖 房 空 調 設 備		
ガ ス 機 器 エ ン ジ ニ ア		
水 道 工 事		
電 気 工 事	橋 本 吉 宣	橋本電気工事(株)
〃	野 口 宏	野口電設(株)
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有)中西商店
通 信 ケ ー ブ ル 工 業		
内 装 材 料 販 売	青 柳 文四郎	(株)和光堂
ソ フ ト ウ ェ ア 開 発	辻 彰 彦	(株)システムステーション
通 信 設 計		
ネ ッ ト ワ ー ク 機 器 販 売	橋 本 日 吉	(株)東邦通信システムズ
制 御 機 器 設 計・製 作		
プ ラ ス チ ッ ク 加 工 業		
洋 楽 器 販 売	鈴 木 洋 子	(株)スズキピアノ商会
自 動 車 学 校	入 江 公 敏	大和自動車学校
葬 祭 業	梅 野 房 子	(株)林間葬祭
建 築 金 物 販 売	原 嶋 賢一郎	(株)大黒屋
葬 儀 貸 式 場 経 営	中 島 康次郎	(株)東京葬祭 大和式礼
生 花 小 売 業	北 島 照 介	(株)きたじま
清 掃 業	池 澤 利 男	(株)昭和環衛公社

充 填 職 業 39

未充填職業 45

==== 会場監督 (S A A) =====

正 入 江 公 敏
副 中 西 功
高 橋 政 勝
古 郡 清
藤 田 方 巳

○活動方針

会長方針であります「キラリと光るロータリー」を実現するため、例会が楽しく充実したものとなるよう、努力いたします。

特に、基本的なマナーやルールを順守し、常に会場内に気を配り、秩序ある運営に努めて参ります。

○実施計画

- (1) 例会の司会進行がスムーズに行えるように、会長・幹事・各委員会との連携を図ります。
- (2) ゲスト・ビジターを歓迎し、「また伺いたい例会」を目指します。
- (3) 例会中の携帯電話・私語等の基本的なマナー・ルールを明確化し、徹底を図り秩序維持に努めます。
- (4) 例会の食事時間を工夫し、例会が楽しい充実したものとなるよう努めて参ります。
- (5) 例会の基本的目的の一つである会員相互の親睦を図るため、定期的に席替えを実施いたします。

≡≡≡ 奉仕プロジェクト委員会 ≡≡≡

担当理事	橋	本	日	吉
副委員長	鈴	木	洋	子
	小	柳	智	裕
委 員	松	崎	正	美
	梅	野	房	子
	引	田	俊	一
	橋	本	吉	宣
	野	口		宏

○活動方針

今年度の奉仕プロジェクト委員会は、昨年度に続き職業奉仕委員会と姉妹クラブ友好委員会で構成されています。相互にロータリーを実践し、皆に豊かな人生をモットーに、一人一人が『キラリと光るロータリー』を目指して活動していきたいと思います。

又、今年度は長期計画を見据えた継続事業（社会奉仕・職業奉仕・新世代奉仕等）を模索し、道筋をつける年度にしたいと思います。

○実施計画

- （１）知的障害者施設の園児と地引き網を通して新しい発見やふれあい体験を行います。
- （２）３つのロータリーとの合同移動例会「大和自動車学校交通安全教室」の開催を通してロータリー認知度向上を目指します。
- （３）近隣在住の南米の子供達との多文化共生「私達ロータリーとしてできる事は…」を模索します。
- （４）持続可能な幸せの感じられる地域社会の形成・自立循環型リサイクルループの実践報告と現地見学から私達ができる事を探ります。

—— (イ) 職業奉仕委員会 ——

委員長 鈴木 洋子
副委員長 長野 俊八
委員 入江 公敏
北島 照介

○活動方針

「キラリと光るロータリー」岸会長の活動方針 —

会員一人一人はそれぞれ職業を通して輝きを持っています。

ロータリー活動を通して更に光を増していくには何が出来るか。36年目を迎えた本年度、新たな光を放てるよう探求していきたいと思います。

○実施計画

- (1) 横澤前会長時の3分間スピーチの継続します。
- (2) 奉仕プロジェクトと一緒にプログラムを組みます。

==== (ロ) 姉妹クラブ友好委員会 =====

委員長 富澤 克司
副委員長 梅田 秀雄
委員 高橋 政勝
長谷川 清

○活動方針

東慶州ロータリークラブとの姉妹友好関係を継続する為、東慶州ロータリークラブ訪問と東慶州ロータリー訪問団の日本への受け入れをします。

新入会員に姉妹クラブの意義を理解していただくとともに、ロータリーとしてのキラリと光る国際交流を楽しんでいただくために、全会員に積極的な参加を期待します。

○実施計画

- (1) 東慶州ロータリークラブ離就任式への訪問、参加を実施します。
- (2) 東慶州ロータリークラブ日本訪問の対応をいたします。
- (3) その他 これからの交流のあり方を検討いたします。

ロータリー財団委員会

担当理事	原	嶋	賢一郎
副委員長	番	桂	柳
委 員	藤	田	重 成
	古	木	勝 治
	梅	野	房 子

○活動方針

2013年7月から世界中でスタートいたします「未来の夢計画」はロータリーを真に実践し、奉仕と価値観を活かすことにより、素晴らしい影響をもたらすことが見えてきます。

2013年からは、全クラブが新モデルの補助金に申請することができます。

重点分野

- (1) 平和と紛争予防・紛争解決
- (2) 疫病予防と治療
- (3) 水と衛生設備
- (4) 母子の健康
- (5) 基本的教育と識字率向上
- (6) 経済と地域社会の発展

○実施計画

- (1) 未来の夢計画の目的や内容等の理解を深めます。
- (2) 年次寄付の目標達成に努力いたします。

＝（イ）米山奨学委員会＝

委員長 藤 塚 勝 明

副委員長 神 作 彰

委員 上 田 利 久

青 柳 文四郎

○活動方針

日本に在留している外国人留学生にロータリアンの寄付金を財源とする奨学金を支給するという、米山奨学事業に対する理解を深めて頂く為に、学友会の活動も適宜ご紹介しながら更に奨学金への寄付に結びつけ、奨学生への支援に寄与できるよう努めてまいります。

○実施計画

- （１）本年度 20,000 円／１人の寄付目標達成を目指します。
- （２）米山月間には米山記念奨学生あるいは米山学友による卓話を実施し生の声をお聞きして米山奨学事業への理解を深めていただきます。
- （３）適時に米山奨学会に関する情報の提供を行います。

公共イメージ委員会

担当理事 辻 彰彦
副委員長 北 砂明彦
委 員 引 田 俊一
石 川 達 男

○活動方針

本年度よりクラブ広報・雑誌・IT 委員会が公共イメージ委員会となりました。

ロータリーの公共イメージと認知度の向上を目指すためです。

クラブの活動を会長ターゲットである「キラリと光るロータリー」の基にそれぞれの会員及び奉仕活動を内外問わず知って頂けるよう工夫することを目指していきます。

○実施計画

- (1) 各委員会との連携をはかり情報の共有化を行い、公共イメージの向上に努めます。
- (2) ホームページの活用と利便性の追及をします。
- (3) 地域への一貫したメッセージの発信を実践します。
- (4) ロータリーの友を介してお互いの気持ちを深めます。

同 好 会

ゴルフ同好会

会 長 阿 萬 正 巳

副会長 北 島 照 介

○活動方針

会員相互の親睦をより深める事が出来るように、楽しいゴルフコンペを企画します。

○実施計画

年2回程度、ゴルフコンペを企画します。

大和中ロータリークラブ委員会構成表

会 長	岸 幸博	理事	会員増強・会員維持	館盛	道明
副 会 長	伊藤 英夫	理事	奉仕プロジェクト委員会	橋本	日吉
会長エレクト	山崎 賢二	理事	ロータリー財団委員会	原嶋賢一郎	
幹 事	中島康次郎	理事	公共イメージ委員会	辻 彰彦	
会 計	古郡 清	理事	副 幹 事	小柳 智裕	
会 場 監 督	入江 公敏				
直 前 会 長	横澤 創				

委員長
副委員長
リーダー

理事會 12名

管理運営委員会		伊藤 英夫	
担当役員	◎伊藤 英夫		
R情報・クラブ研修委員会			
◎横澤 創	★藤塚 勝明		
◎石川 健次	後藤 定毅		
岸 幸博			
クラブ会報委員会			
◎北砂 明彦	◎石川 達男		
長野 俊八	阿萬 正巳		
プログラム委員会			
◎梅田 秀雄	◎北島 昭介		
後藤 定毅	阿萬 正巳		
親睦活動委員会			
◎石川 健次	◎長谷川 清		
◎橋本 吉宣	石川 達男		
竹内 彰	野口 宏		
藤田 方巳	池澤 利男		
スマイルボックス			
◎山崎 賢二	◎郡司 守		
出席			
◎松崎 正実	◎青柳文四郎		

会員増強・会員維持委員会		野口 宏		◎館盛 道明	
担当理事	◎野口 宏	竹内 彰			
◎藤田 方巳	◎藤田 方巳	◎青柳文四郎			
職業分類担当	◎青柳文四郎				
◎郡司 守	◎青柳文四郎				
会員選考担当	◎上田 利久				
◎中西 功	◎上田 利久				
会場監督 (SAA)					
正 入江 公敏	副 中西 功				
高橋 政勝	古郡 清				
藤田 方巳					
会場監督 (SAA)					
正 入江 公敏	副 中西 功				
高橋 政勝	古郡 清				
藤田 方巳					
親睦活動委員会					
◎石川 健次	◎長谷川 清				
◎橋本 吉宣	石川 達男				
竹内 彰	野口 宏				
藤田 方巳	池澤 利男				
スマイルボックス					
◎山崎 賢二	◎郡司 守				
出席					
◎松崎 正実	◎青柳文四郎				

奉仕プロジェクト委員会		◎橋本 日吉		◎原嶋賢一郎	
担当理事	◎橋本 日吉	◎小柳 智裕			
◎鈴木 洋子	◎小柳 智裕	梅野 房子			
松崎 正実	梅野 房子	◎青柳文四郎			
引田 俊一	◎青柳文四郎	◎上田 利久			
野口 宏	◎上田 利久				
職業奉仕委員会					
◎鈴木 洋子	◎長野 俊八				
入江 公敏	北島 昭介				
姉妹クラブ友好委員会					
◎富澤 克司	◎梅田 秀雄				
高橋 政勝	長谷川 清				
ゴルフ同好会					
◎阿萬 正巳					
◎北島 昭介					

奉仕プロジェクト委員会		◎橋本 日吉		◎原嶋賢一郎	
担当理事	◎橋本 日吉	◎小柳 智裕			
◎鈴木 洋子	◎小柳 智裕	梅野 房子			
松崎 正実	梅野 房子	◎青柳文四郎			
引田 俊一	◎青柳文四郎	◎上田 利久			
野口 宏	◎上田 利久				
職業奉仕委員会					
◎鈴木 洋子	◎長野 俊八				
入江 公敏	北島 昭介				
姉妹クラブ友好委員会					
◎富澤 克司	◎梅田 秀雄				
高橋 政勝	長谷川 清				
ゴルフ同好会					
◎阿萬 正巳					
◎北島 昭介					

奉仕プロジェクト委員会		◎橋本 日吉		◎原嶋賢一郎	
担当理事	◎橋本 日吉	◎小柳 智裕			
◎鈴木 洋子	◎小柳 智裕	梅野 房子			
松崎 正実	梅野 房子	◎青柳文四郎			
引田 俊一	◎青柳文四郎	◎上田 利久			
野口 宏	◎上田 利久				
職業奉仕委員会					
◎鈴木 洋子	◎長野 俊八				
入江 公敏	北島 昭介				
姉妹クラブ友好委員会					
◎富澤 克司	◎梅田 秀雄				
高橋 政勝	長谷川 清				
ゴルフ同好会					
◎阿萬 正巳					
◎北島 昭介					

奉仕プロジェクト委員会		◎橋本 日吉		◎原嶋賢一郎	
担当理事	◎橋本 日吉	◎小柳 智裕			
◎鈴木 洋子	◎小柳 智裕	梅野 房子			
松崎 正実	梅野 房子	◎青柳文四郎			
引田 俊一	◎青柳文四郎	◎上田 利久			
野口 宏	◎上田 利久				
職業奉仕委員会					
◎鈴木 洋子	◎長野 俊八				
入江 公敏	北島 昭介				
姉妹クラブ友好委員会					
◎富澤 克司	◎梅田 秀雄				
高橋 政勝	長谷川 清				
ゴルフ同好会					
◎阿萬 正巳					
◎北島 昭介					

奉仕プロジェクト委員会		◎橋本 日吉		◎原嶋賢一郎	
担当理事	◎橋本 日吉	◎小柳 智裕			
◎鈴木 洋子	◎小柳 智裕	梅野 房子			
松崎 正実	梅野 房子	◎青柳文四郎			
引田 俊一	◎青柳文四郎	◎上田 利久			
野口 宏	◎上田 利久				
職業奉仕委員会					
◎鈴木 洋子	◎長野 俊八				
入江 公敏	北島 昭介				
姉妹クラブ友好委員会					
◎富澤 克司	◎梅田 秀雄				
高橋 政勝	長谷川 清				
ゴルフ同好会					
◎阿萬 正巳					
◎北島 昭介					

奉仕プロジェクト委員会		◎橋本 日吉		◎原嶋賢一郎	
担当理事	◎橋本 日吉	◎小柳 智裕			
◎鈴木 洋子	◎小柳 智裕	梅野 房子			
松崎 正実	梅野 房子	◎青柳文四郎			
引田 俊一	◎青柳文四郎	◎上田 利久			
野口 宏	◎上田 利久				
職業奉仕委員会					
◎鈴木 洋子	◎長野 俊八				
入江 公敏	北島 昭介				
姉妹クラブ友好委員会					
◎富澤 克司	◎梅田 秀雄				
高橋 政勝	長谷川 清				
ゴルフ同好会					
◎阿萬 正巳					
◎北島 昭介					

奉仕プロジェクト委員会	
-------------	--

会 員 名 簿 (アルファベット順)

(別表 (2))

分 類	番 号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名	役職名	TEL
			生 年 月 日	年令	郵便番号 事業所所在地		FAX
			入会年月日	年数	郵便番号 自宅住所		TEL
A	1	アマン マサミ 阿 萬 正 巳	税理士		阿萬正巳税理士事務所	所長	261-4567
			昭 36.4.2	52	242-0021 大和市中心4-6-27	Ⓔ	261-4573
			平 21.4.9	4	252-0804 藤沢市湘南台5-3-8		0466-43-7982
	2	アオヤギ ブンシロウ 青 柳 文四郎	内装材料販売		(株)和光堂	取締役	275-0101
			昭 3.2.15	85	242-0006 大和市南林間1-15-11	Ⓔ	275-2592
			平 15.6.19	10	242-0013 大和市深見台4-6-11		263-2227
B	3	バン ケイリュウ 番 桂 柳	外科医		大和中央外科	院長	261-6509
			昭 6.3.31	82	242-0021 大和市中心5-2-7	Ⓔ	261-6509
			昭 60.4.18	28	242-0021 大和市中心5-2-7		261-6509
F	4	フジタ マサミ 藤 田 方 巳	屋根工事業		(株)フジ工業	代表取締役	261-2240
			昭 22.10.26	65	242-0018 大和市深見西2-7-18	Ⓔ	261-6676
			平 25.1.1	0	242-0018 大和市深見西2-7-18		265-5788
	5	フジタ シゲナリ 藤 田 重 成	鉄骨建築		藤田商事(有)	取締役	274-7066
			大 10.5.15	92	242-0006 大和市南林間1-5-15	Ⓔ	275-5294
			昭 53.6.23	35	242-0006 大和市南林間1-5-15		274-3931
	6	フジツカ カツアキ 藤 塚 勝 明	木造建築		(有)藤塚工務店	代表取締役	261-1740
			昭 19.4.11	69	242-0017 大和市大和東1-9-20	Ⓔ	264-6943
			昭 61.10.16	26	242-0017 大和市大和東1-9-20		261-1740
	7	フルゴオリ キヨシ 古 郡 清	運送業		(有)緑運輸	代表取締役	261-5580
			昭 18.3.19	70	242-0021 大和市中心7-16-15	Ⓔ	261-4572
			昭 60.2.28	28	242-0017 大和市大和東1-10-15		261-0327
	8	フルキ カツハル 古 木 勝 治	農業		古木農園	代表	276-0801
			昭 11.8.12	76	242-0002 大和市つきみ野3-3-13	Ⓔ	276-0288
			昭 54.10.18	33	242-0002 大和市つきみ野3-3-11		274-7632
G	9	ゴトウ サダキ 後 藤 定 毅	機械部品製造		フジ工業(株)	代表取締役	251-6100
			昭 18.6.11	70	252-0004 座間市東原2-16-26	Ⓔ	229-3659
			昭 55.7.10	32	243-0023 厚木市戸田1086		228-2157
	10	ゲンジ マモル 郡 司 守	貸倉庫		(株)ゲンジ	代表取締役	045-641-7336
			昭 8.7.24	79	242-0012 大和市深見東1-4-31	Ⓔ	045-753-0750
			再昭63.12.8	24	235-0021 横浜市磯子区岡村1-19-30		045-753-0750
H	11	ハラシマ ケンイチロウ 原 嶋 賢一郎	建築金物販売		(株)大黒屋	代表取締役	262-0106
			昭 25.7.2	62	242-0018 大和市深見西3-6-22	Ⓔ	263-6738
			平 18.4.20	7	242-0021 大和市中心4-1-22-107		264-3178
	12	ハセガワ キヨシ 長谷川 清	不動産賃貸業		(有)長谷川商事	代表取締役	0465-47-3615
			昭 29.9.18	58	256-0812 小田原市国府津3-2-26	Ⓔ	0465-49-0326
			平 24.12.1	0	254-0045 平塚市見附町1-28-708		0463-73-5047
	13	ハシモト ヒヨシ 橋 本 日 吉	ネットワーク機器販売		(株)東邦通信システムズ	代表取締役	276-5828
			昭 25.5.15	63	242-0007 大和市中心林間1-10-7	Ⓔ	276-8585
			平 13.3.15	12	242-0002 大和市つきみ野1-6-3-606		277-0888
	14	ハシモト ヨシノブ 橋 本 吉 宣	電気工事業		橋本電気工事(株)	代表取締役	261-6581
			昭 46.2.4	42	242-0011 大和市深見3919-8	Ⓔ	263-8574
			平 24.3.1	1	252-1134 綾瀬市寺尾南3-19-3		0467-71-3724

分類	番号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名	役職名	TEL
			生 年 月 日	年令	郵便番号 事業所所在地		FAX
			入会年月日	年数	郵便番号 自宅住所		TEL
H	15	ヒキタ シュンイチ 引 田 俊 一	脳神経外科医		ライラッククリニック	院長	277-1055
			昭 45.1.1	43	242-0004 大和市鶴間2-11-29 第2大和クリニックモール1F	㊞	277-1056
			平 22.10.26	2	242-0004 大和市鶴間1-27-12-203		
I	16	イケザワ トシオ 池 澤 利 男	清掃業		(株)昭和環衛公社	代表取締役	261-1136
			昭 47.2.13	41	242-0021 大和市中央3-10-17	㊞	261-1137
			平 25.5.1	0	242-0024 大和市福田7-39-6-705		269-9074
	17	イリエ キミトシ 入 江 公 敏	自動車学校		大和自動車学校	常務取締役	262-1212
			昭 30.2.14	58	242-0018 大和市深見西4-3-29	㊞	261-9911
			平 17.10.13	7	253-0024 茅ヶ崎市平和町2-10		0467-87-8721
	18	イシカワ ケンジ 石 川 健 次	中華料理		(株)北京飯店	代表取締役	261-7160
			昭 28.2.2	60	242-0021 大和市中央2-4-18	㊞	261-0127
			平 1.8.3	23	242-0021 大和市中央2-9-11		263-7470
	19	イシカワ タツオ 石 川 達 男	印刷業		大塚印刷(株)	代表取締役	263-3838
			昭 26.5.13	62	242-0028 大和市桜森2-14-2	㊞	264-3230
			平 24.3.1	1	253-0105 高座郡寒川町岡田4-9-22		0467-75-8239
	20	イトウ ヒデオ 伊 藤 英 夫	スーパーマーケット		(有)イトウ	代表取締役	263-3000
			昭 13.3.18	75	242-0005 大和市西鶴間4-7-5	㊞	263-5100
			昭 53.6.23	35	242-0005 大和市西鶴間4-7-5		263-3000
K	21	カミサク アキラ 神 作 彰	物流代行業		石井運輸(株)	代表取締役	277-5656
			昭 19.3.6	69	242-0007 大和市中央林間1-5-6	㊞	277-5711
			昭 58.3.3	30	242-0007 大和市中央林間1-5-6		277-5656
	22	キシ ユキヒロ 岸 幸 博	住宅設備		岸木工(有)	代表取締役	261-4537
			昭 24.12.5	63	242-0017 大和市大和東3-2-13	㊞	264-7476
			平 5.3.4	20	242-0017 大和市大和東3-2-13		261-4537
	23	キタジマ テルユキ 北 島 照 介	生花小売業		(株)きたじま 北島生花店		275-7893
			昭 29.1.21	59	242-0002 大和市つきみ野3-25-2	㊞	275-8718
			平 19.11.1	5	242-0002 大和市つきみ野3-10-3		274-5988
	24	キタサゴ アキヒロ 北 砂 明 彦	損害保険		(株)オーシャニック	代表取締役	042-746-1810
			昭 37.10.18	50	252-0314 相模原市南区南台3-18-1 トミールビル	㊞	042-748-9069
			平 23.7.7	1	242-0006 大和市南林間9-8-19		272-0435
	25	コヤナギ トモヒロ 小 柳 智 裕	生命保険		(有)F P ブレイン	代表	271-1212
			昭 34.10.4	53	242-0007 大和市中央林間3-5-15-202	㊞	276-1718
			平 14.3.7	11	242-0005 大和市西鶴間5-1-25-210		262-5474
M	26	マツザキ マサミ 松 崎 正 実	獣医		つきみ野松崎動物病院	院長	275-4556
			昭 25.1.4	63	242-0002 大和市つきみ野4-11-14	㊞	275-4552
			昭 56.12.3	31	242-0002 大和市つきみ野4-11-14		275-4556
N	27	ナガノ シュンハチ 長 野 俊 八	自転車販売		サイクルセンターナガノ	代表	274-4439
			昭 9.1.21	79	242-0006 大和市南林間1-19-11	㊞	275-1039
			昭 57.9.9	30	242-0006 大和市南林間1-19-11		274-4439
	28	ナカジマ ヤスジロウ 中 島 康次郎	セレモニーホール 葬儀貸式場		(株)東京葬祭 大和式礼	所長	264-4111
			昭 25.5.22	63	242-0017 大和市大和東2-9-13	㊞	264-3896
			平 18.10.26	6	120-0005 東京都足立区綾瀬2-1-19		03-3838-3320
	29	ナカニシ イサオ 中 西 功	建築材料販売		(株)中西商店	代表取締役	274-4655
			昭 20.2.7	68	242-0004 大和市鶴間2-14-5	㊞	274-4490
			昭 53.8.17	34	242-0004 大和市鶴間2-14-5		274-9765

分類	番号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名	役職名	TEL
			生 年 月 日	年令	郵便番号	事業所所在地	FAX
			入会年月日	年数	郵便番号	自宅住所	TEL
N	30	ノグチ ヒロシ 野 口 宏	電気工事業		野口電設(株)		代表取締役社長
			昭 42.11.12	45	242-0016	大和市大和南2-8-14	㊦ 264-3161
			昭 24.7.5	0	194-0004	東京都町田市鶴間1856-1-710	042-795-3637
S	31	スズキ ヒロコ 鈴 木 洋 子	洋楽器販売		(株)スズキピアノ商会		代表取締役
			昭 21.4.20	67	242-0017	大和市大和東2-8-7-303	㊦ 262-6683
			平 16.1.8	9	242-0017	大和市大和東2-8-7-303	262-6683
T	32	タカハシ キヨシ 高 橋 清	貸倉庫		(有)文が岡商事		代表取締役
			昭 16.2.12	72	242-0028	大和市桜森3-15-6	㊦ 261-5790
			昭 62.7.23	25	242-0028	大和市桜森3-15-6	261-5775
	33	タカハシ マサカツ 高 橋 政 勝	不動産賃貸		(有)高橋		代表取締役
			昭 12.8.4	75	242-0029	大和市上草柳4-6-4	㊦ 261-8736
			昭 55.10.30	32	242-0029	大和市上草柳4-6-4	261-7685
	34	タケウチ アキラ 竹 内 彰	普通銀行		(株)八千代銀行 大和支店		支店長
			昭 36.1.9	52	242-0016	大和市大和南1-4-4	㊦ 264-0612
			平 24.11.1	0	192-0363	八王子市別所1-53-2-6-303	042-679-0633
	35	タテモリ ミチアキ 館 盛 道 明	宗教		宗教法人曹洞宗定方寺		代表役員住職
			昭 21.8.30	66	242-0001	大和市下鶴間145	㊦ 272-0757
			平 10.12.3	14	242-0001	大和市下鶴間145	274-0421
	36	トミザワ コクシ 富 澤 克 司	不動産賃貸		(有)惣永商事		代表取締役
			昭 35.1.28	53	242-0011	大和市深見3379	㊦ 264-9221
			平 24.1.12	1	242-0011	大和市深見3379	261-5577
	37	ツジ アキヒコ 辻 彰 彦	ソフトウェア開発		(株)システムステーション		代表取締役
			昭 35.9.18	52	231-0023	横浜市中区山下町74-1	㊦ 045-662-5821
			平 22.4.1	3	248-0025	鎌倉市七里ガ浜東2-28-13	0467-31-5203
U	38	ウエダ トシヒサ 上 田 利 久	小児科医		うえだこどもクリニック		アドバイザー
			昭 4.1.23	84	242-0003	大和市林間2-17-6	㊦ 274-6355
			昭 53.6.23	35	242-0003	大和市林間2-17-6	275-1540
	39	ウメダ ヒデオ 梅 田 秀 雄	茶販売		(株)渡邊園		代表取締役
			昭 19.1.19	69	242-0017	大和市大和東1-6-6	㊦ 263-2013
			昭 62.4.9	26	242-0011	大和市深見2244-1	262-6610
	40	ウメノ フサコ 梅 野 房 子	葬祭業		(株)林間葬祭		代表取締役
			昭 13.11.9	74	本店 242-0007	大和市中心林間3-19-1 大和店 242-0028 大和市上草柳2-17-15	265-2304/265-4000 ㊦ 264-1600
			平 17.11.10	7	242-0029	大和市上草柳2-17-15	265-0127
Y	41	ヤマザキ ケンジ 山 崎 賢 二	不動産管理		(有)山崎事務所		代表取締役
			昭 21.12.18	66	242-0017	大和市大和東1-9-9	㊦ 264-0328
			平 6.1.6	19	242-0017	大和市大和東1-9-9	263-0328
	42	ヨコザワ ハジメ 横 澤 創	総合建設業		ニッケン建設(株)		代表取締役
			昭 25.3.5	63	222-0032	横浜市港北区大豆戸町353	㊦ 045-432-3264
			平 3.6.13	22	242-0014	大和市上和田3444-4	269-5399

歴 代 会 務 分 担 表

◎委員長 ○副委員長 △委員

□=役員・理事 エレクト=会長エレクト 職業=職業奉仕 社会=社会奉仕 国際=国際奉仕 新世=新世代奉仕(青少年) クラブ=クラブ奉仕 会報=クラブ会報
親睦=親睦活動 プログ=プログラム スマイル=スマイルボックス 組織=組織部門 選考=会員選考 増強=会員増強 分類=職業分類 情報=ロータリー情報 環境=環境保全
財団=ロータリー財団 米山=米山奨学 姉妹ク=姉妹クラブ友好 ポリオ=ポリオプラス 職情=職業情報 世界=世界親睦理解 監査=会計監査 ☆=地区委員

会 員 名 入会年月日	78～79	79～80	80～81	81～82	82～83	83～84	84～85	85～86	86～87	87～88	88～89	89～90	90～91	91～92	92～93	93～94	94～95	95～96	96～97	97～98	98～99	99～00	00～01	01～02	02～03	03～04	04～05	05～06	06～07	07～08	08～09	09～10	10～11	11～12	12～13	13～14		
藤 田 重 成 S53年 6 月23日	◎広報 ○情報	◎情報 △財団	会計 ○情報 △会報	◎選考	◎社会 ○米山	○広報	副会長 ◎クラブ	エレクト ○クラブ	会長 △情報	○情報	◎情報	△増強	◎雑誌	副SAA	◎増強	△雑誌	◎職業	△米山	△国際	△財団	△財団	◎米山	△出席	△スマイル	監査 ○雑誌	△雑誌 監査	△選考	◎環境	△広報 △職業	△職業 △雑誌	△広報 雑誌	△職業 △米山	△財団	△米山	△米山	△財団		
郡 司 利 守 S53年 6 月23日	◎増強 ○会報	◎国際 ○会報	◎プログ △出席 △スマイル	副幹事 △プログ	幹事 退会						△親睦 (再入会) S63.12.8	○プログ △国際	◎職業	副会長 ◎クラブ	◎親睦	○米山	◎SAA	◎職業	△会報	◎財団	◎スマイル	S A A	○選考	◎職業	◎雑誌 △選考	◎出席	監査 ○米山	△親睦 監査	○新世	◎選考 △新世	会計	△分類 △広報	◎財団 ○スマイル	◎選考 監査	○米山 監査	○分類 △スマイル		
伊 藤 英 夫 S53年 6 月23日	◎出席 ○青少 △情報	◎青少 ○情報	◎情報	◎親睦 △財団	◎社会 △プログ	副幹事 副SAA	幹事	◎SAA	◎増強	◎スマイル △増強	◎選考	△会報	副SAA	◎プログ	エレクト ○クラブ	会長 △情報 ☆	◎情報 △増強 ☆	◎情報	○米山	△職業	△スマイル	◎国際	○広報	△選考	◎出席 ○環境	会計 △選考	○スマイル ◎環境	◎雑誌 △社会	◎増強 △新世	◎親睦 監査	△国際 監査	◎親睦	○SAA ◎社会	△SAA 監査	○出席	副会長 ◎管理		
上 田 利 久 S53年 6 月23日	◎雑誌 △分類	◎会報 ○分類	◎国際 ◎分類	△広報 △職業	◎プログ △出席	副会長	エレクト ○クラブ	会長 △情報	○情報	◎情報 ○ポリオ △雑誌	○ポリオ △出席	◎選考	副SAA	◎職業	○出席	◎雑誌 ☆	△職情	◎財団	◎親睦	◎増強	◎環境 △社会	△雑誌 ◎財団	△広報	○親睦	◎広報 ○職業	◎雑誌	○プログ △社会	◎米山 △国際 監査	◎選考 監査	○新世	◎社会	○出席	◎分類	○スマイル ◎職業	△選考	◎選考 △米山		
中 西 功 S53年 8 月17日	△親睦	◎親睦 ◎増強 ◎社会	◎米山 △青少	会計 ○青少	◎青少 ○プログ	○出席	◎国際 △選考	◎財団	◎職業	◎会報 △米山	◎国際	副幹事 △スマイル	幹事	◎職情	◎SAA	◎会報	◎職情	◎職業	◎クラブ △雑誌	◎雑誌 △クラブ	エレクト ◎組織	会長 △情報	◎情報 ☆	◎情報 △プログ	◎会報 ◎情報	○プログ	◎プログ △会報	◎SAA △増強	△広報 △環境	△財団	◎社会	◎奉仕プロ ◎職業	◎プログ	◎分類 ◎新世	○出席	◎SAA △選考		
古 木 勝 治 S54年10月18日		△親睦	○親睦 ○プログ	◎会報	副幹事	幹事	◎SAA	◎社会	◎財団	◎増強	副会長 ◎クラブ	△職情	◎選考	△米山	◎広報	エレクト ○クラブ	会長 △情報 ☆	◎情報 ☆	◎情報	△選考	△職業	○青少	副会長 ◎クラブ ☆	◎新世	◎親睦	◎選考	◎財団 ○スマイル	◎職業	◎雑誌	◎会報	◎プログ ☆	◎米山 △新世	△社会	△広報	△財団	△財団		
後 藤 定 毅 S55年 7 月10日			△親睦	◎プログ ◎国際	◎会報 ◎社会	会計	◎親睦	◎国際	◎スマイル	◎社会 △プログ	副幹事 副SAA	幹事	○ポリオ △出席	◎SAA	◎国際 △広報	◎社会	◎雑誌	○クラブ	エレクト ◎組織	会長 △情報	◎情報 ☆	◎情報 ☆	副会長 ◎クラブ ☆	◎新世	◎親睦	◎選考	◎財団 ○スマイル	◎職業	◎雑誌	◎会報	◎プログ ☆	◎米山	◎財団 ☆	★情報 ☆	会計 ★情報 △会報 △国際☆	△情報 △プログ 監査☆		
高 橋 政 勝 S55年10月30日			△親睦	◎出席 △財団	◎選考 △青少	◎社会 △青少	◎米山 ○青少	◎青少	副幹事 副SAA	幹事	◎プログ △クラブ	◎SAA	◎会報	△増強	◎職業	◎環境	エレクト ◎組織	会長 △情報	◎情報	◎情報	◎選考	◎増強	監査 △新世	副会長 ◎クラブ	◎新世	◎親睦	◎財団 △国際	◎雑誌 △国際	◎広報 △姉妹ク	◎国際	会計 ○スマイル	◎親睦	◎財団 ◎広報	◎職業 ☆	◎国際	○奉仕 △雑誌☆	△SAA △姉妹ク	
松 崎 正 実 S56年12月 3 日				△親睦	○スマイル △親睦	◎親睦 △社会	◎出席	◎会報	会計	◎親睦	◎財団	◎財団	◎国際	◎会報 △分類	○分類	◎分類	◎増強	副幹事 △環境	幹事	△分類	◎米山 ○分類	◎分類 スマイル	◎SAA	◎職業 △雑誌	◎環境 △会報	△広報 △出席	エレクト 組織	会長 △情報	◎財団 △情報	◎プログ ◎情報	◎広報	◎親睦 監査	◎スマイル 監査	◎会報	副会長 ◎管理	◎出席 △奉仕		
長 野 俊 八 S57年 9 月 9 日					△親睦	◎増強 △職業	◎雑誌 △青少	◎出席 ○青少	◎青少	◎親睦 △青少	◎親睦	◎プログ	副幹事 △会報	幹事	△分類	◎SAA ◎分類	◎分類 ◎社会	副会長 ◎クラブ	○スマイル	△会報	◎プログ	◎選考	△スマイル	◎環境 ◎社会	エレクト ◎組織	会長 △情報	◎情報 △国際	◎SAA △財団	◎米山 △国際	◎分類	会計	◎選考 監査	◎プログ	◎財団	◎職業 △会報			
神 作 彰 S58年 3 月 3 日				△親睦	△親睦	○分類 △スマイル	◎分類 △SAA	米山	◎広報	◎職情 ◎職業	◎出席	○米山	◎国際	副幹事 △プログ	幹事	△分類 △国際	◎SAA ◎分類	◎分類 ◎国際	◎分類 ◎会報	◎選考 ◎クラブ	◎財団	◎出席 △国際	◎スマイル	会長	◎増強 ◎情報	◎情報 △国際	◎職業	◎米山	◎社会 △広報	副会長 ◎クラブ 管理	会計	◎職業	○米山					
古 郡 清 S60年 2 月28日						△親睦	△親睦	◎親睦 △青少	◎青少	◎親睦	◎増強 ○青少	◎青少	◎親睦	◎増強	○スマイル	◎社会	◎財団	◎環境	副幹事 △SAA	幹事	△分類 △会報	◎SAA	◎選考 ◎プログ	△親睦 △環境	◎選考	副会長 ◎クラブ	◎米山 △会報	エレクト 組織	会長 △情報	◎出 席 ◎情報 △選考	◎会報 ◎広報	◎クラブ △広報	△選考 △社会	◎情報 △新世	△職業 △情報	◎国際 △米山	◎スマイル ◎会報	
番 桂 柳 S60年 4 月18日							△親睦	△職業	△スマイル	◎雑誌	◎職業	◎スマイル	副会長 ◎クラブ	△プログ	副SAA	◎米山	◎プログ	◎広報	◎会報	◎選考	◎出席 △クラブ	◎雑誌	◎国際	△財団	△職業	◎財団	△雑誌	◎米山 △親睦	◎出席	◎出 席 △選考 △姉妹ク	△増強 監査	◎国際 監査	◎出 席 △米山	◎米山	○スマイル	◎財団		
藤 塚 勝 明 S61年10月16日									△親睦	◎財団 △親睦 △青少	○青少	◎青少	◎職情	◎米山	△会報	◎親睦	◎広報	会計 △出席	◎プログ	副幹事 △SAA	幹事	◎環境 △分類	◎会報 ◎分類	◎SAA ◎分類	◎分類 ◎親睦	◎新世 △親睦	◎増強 ◎国際	副会長 ◎クラブ	エレクト 組織	会長 △情報 ☆	◎出 席 ◎情報 △選考	◎会報 ◎広報	◎クラブ △広報	△選考 △社会	◎情報 △新世	△情報 △奉仕 △職業☆	◎プログ △財団 ☆	★情報 ◎米山 ☆
梅 田 秀 雄 S62年 4 月 9 日									△親睦	△親睦	△青少	○青少	◎青少	◎親睦	◎社会 △世界	◎職業	◎親睦	◎会報	◎社会	副SAA	◎財団	副幹事 △青少	幹事	△分類 △財団	◎米山 ○分類	◎分類 ◎SAA	◎国際 ◎SAA	◎増強 △スマイル	◎会報 △奉仕 ◎クラブ	エレクト △情報 △新世	◎情報 △新世	◎職業 △情報	◎国際 ◎クラブ	◎増強	◎親睦 △増強	◎プログ △姉妹ク		
高 橋 清 S62年 7 月23日										△親睦	△職業	◎会報	◎親睦	◎社会	◎米山	◎社会	◎社会	◎財団	◎出席	◎職業	◎SAA	◎プログ	副幹事	幹事	△分類	◎国際 ◎分類	◎SAA ◎分類	◎増強 △出席	◎新世	エレクト	会長	◎情報 ◎会報	◎米山	◎財団 △SAA	監査 ◎IM			
石 川 健 次 H 1 年 8 月 3 日												△親睦	△会報	△親睦	△職業	◎国際	◎世界	◎社会	◎会報	◎親睦 △クラブ	○米山	◎会報	◎新世 △SAA	副幹事 ○新世	幹事	△分類	◎分類 ◎新世	◎プログ	◎SAA	◎財団 △国際	◎増強 ◎スマイル	◎会報 ◎新世	エレクト ☆	会長 △情報	◎情報 ☆	◎親睦 △情報		
横 澤 創 H 3 年 6 月13日													△親睦	△親睦	△会報 △米山	◎親睦	◎出席	○青少 △プログ	◎青少	◎職業 △スマイル	◎会報 △クラブ	△SAA	◎新世	◎増強	◎雑誌 ◎出席	◎社会 ◎出席	◎副幹事 △姉妹ク	幹事 △分類	◎SAA	◎国際	◎情報 △新世	◎情報 △新世	◎情報 △新世	◎情報 △新世				
岸 幸 博 H 5 年 3 月 4 日														△親睦	△親睦	△出席	△広報 △国際	◎広報	○青少	◎青少	◎スマイル	△親睦 △社会	◎選考 △会報	◎社会	◎増強 △職業	◎選考 ◎プログ	◎財団 △雑誌 △国際	◎職業	◎姉妹ク	幹事	△SAA △社会	◎SAA ◎新世	◎親睦	エレクト △財団 △新世	◎情報 △新世			
山 崎 賢 二 H 6 年 1 月 6 日																											△親睦	△親睦	△会報	◎スマイル	◎会報 △分類 ◎姉妹ク	副会長 △奉仕 ◎分類	◎職業 ◎SAA	◎奉仕プロ ◎職業	◎スマイル	◎情報 ☆	◎情報 △新世	◎情報 △新世
舘 盛 道 明 H10年12月 3 日																																						
橋 本 日 吉 H13年 3 月15日																																						
小 柳 智 裕 H14年 3 月 7 日																																						
青 柳 文四郎 H15年 6 月19日																																						
鈴 木 洋 子 H16年 1 月 8 日																																						
入 江 公 敏 H17年10月13日																																						
梅 野 房 子 H17年11月10日																																						
原 嶋 賢一郎 H18年 4 月20日																																						
中 島 康次郎 H18年10月26日																																						
北 島 照 介 H19年11月 1 日																																						
阿 萬 正 巳 H21年 4 月 9 日																																						

ク ラ ブ 運 営 規 程 集

大和中ロータリークラブ定款
大和中ロータリークラブ細則
大和中ロータリークラブ内規

大和中ロータリークラブ

2013 年 7 月 1 日現在

大和中ロータリークラブ定款

第1条 定義

本条の語句は、本定款で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味をもつものとする。

1. 理事会：本クラブの理事
2. 細 則：本クラブの細則
3. 理 事：本クラブの理事会メンバー
4. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
5. R I：国際ロータリー
6. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 名称

本会の名称は、大和中ロータリークラブとする。(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りとする：大和市

《但し第4条綱領以下は、「標準ロータリークラブ定款」によるものとする。》
(2010年版手続要覧)

附 則

1. 本定款は、昭和53年5月9日から適用する。
2. 本定款は、平成20年7月1日更新

大和中ロータリークラブ細則

第1条 定義

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 理 事：本クラブの理事会メンバー
3. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
4. R I：国際ロータリー
5. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 理事会

本クラブの管理主体は本クラブの会員12名により成る理事会とする。すなわち会長、副会長、会長エレクト（または、後任者が選挙されていない場合は会長ノミニー）、幹事、会計、会場監督、直前会長である。本細則第3条第1節に基づいて選挙された5名の理事を加えることができる

第3条 理事および役員等の選挙

第1節 役員・理事及び会計監査を選挙すべき会合の1カ月前の例会において、その議長たる役員は会員に対して、会長（次々年度）、副会長、幹事、会計、および5名の理事と会計監査を指名することを求めなければならない。その指名は、クラブの決定するところに従って指名委員会または出席全会員のいずれか一方または双方によって行うことができる。もし指名委員会を設けるように決定されたならば、かかる委員会はクラブの定めるところに従って設置されなければならない。適法に行われた指名は各役職ごとにアルファベット順に投票用紙に記載されて年次総会において投票に付せられるものとする。投票の過半数を獲得した会長、副会長、幹事、会計及び会計監査がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言されるものとする。投票の過半数を得た5名の理事候補が理事に当選したものと宣言されるものとする。前記の投票によって選挙された会長候補は、会長ノミニーになるものとする。会長ノミニーは、その選挙後の次の7月1日に会長エレクトに就任するものとし、年度を通じて役員を務めるものとする。会長エレクトは、その年度の直後の7月1日に、会長に就任するものとする。

第2節 選挙された役員および理事に、直前会長を加えて理事会を構成するもの

とする。選挙によって決定した次年度理事会は、1週間以内に会合してクラブ会員の中から会場監督を務める者を選任しなければならない。

第3節 理事会またはその他の役職に生じた欠員は、残りの理事の決定によって補填すべきものとする。

第4節 役員エレクト（会長エレクト及び会長ノミネーを除く）または理事エレクトの地位に生じた欠員は、残りの理事エレクトの決定によって補填すべきものとする。

（参考資料① P.60）

第4条 役員等の任務

第1節 会長。本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 直前会長。理事会のメンバーとしての任務、および会長が理事会によって定められるそのほかの任務を行うことをもって、直前会長の任務とする。

第3節 会長エレクト。理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うことをもって会長エレクトの任務とする。

第4節 副会長。クラブ管理運営委員会の委員長を務めると共に、会長不在の場合には本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第5節 幹事。幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録をつくってこれを保管し、全会員の人頭分担金および半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員の比例人頭分担金を記載した毎年1月1日および7月1日現在の半期会員報告、会員資格変更報告、毎月の最終例会の後15日以内に地区ガバナーに対して行わなければならない月次出席報告を含む、諸種の義務報告をRIに対して行い、RI公式雑誌の購読料を徴収してこれをRIに送金し、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって幹事の任務とする。

第6節 会計。すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会計の任務とする。その職を去るに当たっては、会計はその保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第7節 会場監督。通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うことをもって会場監督の任務とする。

第8節 副幹事。副幹事は会長エレクトを補佐し、担当年度の準備・調整を行うことをもって任務とする。

第9節 会計監査。毎年度末、すべての資金、会計帳簿およびクラブ財産を監査し、その結果を例会において報告する。会計および経理資格所有者またはそれに準ずるもの2名を選任する。

第5条 会合

第1節 年次総会。本クラブの年次総会は毎年12月第1週の例会に開催されるものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。

第2節 本クラブの毎週の例会は木曜日12時30分に開催するものとする。例会に関するあらゆる変更または例会の取消はすべてクラブの会員全部に然るべく通告されなければならない。本クラブの瑕疵なき会員はすべて、名誉会員（または標準ロータリー・クラブ定款に基づき、出席を免除された会員）を除き、例会の当日、その出席または欠席が記録され、その出席は、本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセントに出席していたことが実証されるか、もしくは標準ロータリー・クラブ定款第9条第1節と第2節の規定によるものでなければならない。

第3節 会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

第4節 定例理事会は毎月当該年度の決定により定められた例会後に開催されるものとする。臨時理事会は会長がその必要ありと認めたとき、または2名の理事からの要求があるとき、会長によって招集されるものとする。但しその場合然るべき予告が行われなければならない。

第5節 理事会の過半数をもって理事会の定足数とする。議事の決議が同数のときは議長が決するところによる。

第6条 入会金および会費

第1節 入会金は50,000円とし、入会承認後すみやかに納入すべきものとする。但し、標準ロータリークラブ定款第11条に該当する場合はこの限りではない。

第2節 会費は年額250,000円とし、各半年ごとの各支払額のうちの一部は各会員のRI公式雑誌の購読料に充当するという了解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に納入すべきものとする。

第3節 途中入会の会費については月割りとし、退会の場合は返還をしないもの

とする。

また、会費納入に関し、次に該当した場合には、会費の一部免除を理事会の承認により決定できる。

- ①大和中ロータリークラブ細則第11条第2節の出席規定免除会員で高度障害・認知度低下等特別な事情により例会の出席が困難な場合。
- ②長期療養等により物理的に例会に出席できない会員で長期休会の申し出がある場合。

但し、出席が可能となった時点で、会費一部免除の対象から除外される。

第7条 採決の方法

本クラブの議事は、役員および理事を投票によって選挙する場合を除き、口頭による採決をもって処理されるものとする。理事会は、特定の決議案を、口頭ではなく投票により処理することを決定することができる。

第8条 五大奉仕部門

五大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの活動のための理念と実践の枠組みである。それはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、および新世代奉仕である。本クラブは、五大奉仕部門の各部門に積極的に取り組むこととする。

第9条 委員会

クラブ委員会は、五大奉仕部門に基づいた年次目標および長期目標を推進する責務を担う。会長エレクト、会長および直前会長は、指導の継続と計画の一貫性を図るよう協力すべきである。継続性を保持するため、可能であれば、委員会委員が同じ委員会を3年間務めるよう任命すべきである。会長エレクトは任期が始まる前に、委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員会委員長を任命し、企画会議を設ける責務がある。委員長は同委員会の委員としての経験を有していることが推奨される。常任委員会は次の通り任命されるものとする。

・管理運営委員会

この委員会はクラブの効果的な運営に関連する活動を実施するものである。

・会員増強委員会

この委員会は、会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施するものである。

・奉仕プロジェクト委員会

この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会におけるニーズに応える

教育的、人道的、および職業関係のプロジェクトを立案し、実施するものである。

- ・ロータリー財団委員会

この委員会は、寄付とプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する計画を立て、実施するものである。

- ・公共イメージ委員会

この委員会は、一般の人々にロータリーについての情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立て、この計画を実施するものである。

その他、必要に応じて特別委員会（アドホック）を設けることができる。

特別委員会は下記の通りである。

①クラブ管理運営委員会の特別委員会として会報・プログラム・親睦活動・ロータリー情報・クラブ研修委員会を設置する。

②奉仕プロジェクト委員会の特別委員会として職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代育成の各委員会を設置する。

③ロータリー財団委員会の特別委員会として米山奨学委員会を設置する。

④クラブ広報委員会の特別委員会として広報・雑誌委員会を設置する。

(a)会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。

(b)各委員会は本細則によって付託された職務および会長または理事会が付託する事項を処理すべきものとする。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまでは行動してはならない。

(c)それぞれの委員長はその委員会の定例会合と活動に対して責任をもち、委員会の全活動について理事会に報告するものとする。

第10条 委員会の任務

会長は、自らの就任年度の諸委員会の任務を定め、見直すものとする。各委員会の任務を発表するにあたり、会長は適切な RI 文書を参照するものとする。奉仕プロジェクト委員会はその年度計画を立てるにあたり、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕及び新世代育成の部門を考慮に入れることとする。

各委員会は、毎年度の初めに設定された具体的な担当職務、明確な目標、行動計画の下に、年度中その実施に当たるものとする。会長エレクトは上述の通り、ロータリー年度の開始に先立ち、クラブ委員会のための推奨事項、担当職務、目標、計画を理事会に提示すべく準備するために、必要な指導を行うとい

う主要な責務がある。

第11条 出席義務規定の免除

第1節 理事会に対して書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、会員は出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。

第2節 年齢が65歳以上の会員で、かつ、一つまたは複数のロータリー・クラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を書面をもって、クラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。

第12条 財務

第1節 各会計年度の開始に先立ち、理事会はその年度の収支の予算を作成しなければならない。その予算は、これらの費目に対する支出の限度となるものとする。但し、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。予算は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動運営に関する予算である。

第2節 会計は本クラブの資金をすべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。クラブ資金は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営と奉仕プロジェクトに関する資金である。

第3節 すべての勘定書は、会計、もしくは権限をもつ役員によって支払われるものとする。ただし、これは他の2名の役員または理事が承認した場合のみとする。

第4節 すべての資金業務処理は、毎年1回会計監査によって全面的な検査が行われるものとする。

第5節 資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管に務めなければならない。

第6節 本クラブの会計年度は7月1日より6月30日に到る期間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の二半期に分けるものとする。人頭分担金とRI公式雑誌購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。

第7節 周年記念事業積立金は、周年記念事業の支出のため、積み立てるものとする。本積立金は、周年記念事業の支出を除いては、取り崩すことができない。運営にあたっては、理事会で決定するものとする。

第8節 青少年育成基金は、地域の青少年の育成事業を行うため、積み立てるものとする。運営にあたっては、別途運用基準を基に理事会で決定するものとする。（参考資料② P.61）

第9節 別途準備金は、損失補てんに充てる場合に備え、一般会計より積み立てるものとする。本準備金は、損失の補てんに充てる場合を除いては、取り崩すことができない。積立・取り崩しについては、理事会で決定するものとする。

第13条 会員選挙の方法

第1節 本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。移籍する会員または他クラブに属していた元クラブ会員は、元クラブによって正会員に推薦されてもよい。この推薦は、本条に別な定めのある場合を除き、漏らしてはならない。

第2節 理事会は、その被推薦者が標準ロータリー・クラブ定款の職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを確認するものとする。

第3節 理事会は、推薦状の提出後30日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通告しなければならない。

第4節 理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。この説明の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて承諾を求めなければならない。

第5節 被推薦者についての発表後7日以内に、理事会がクラブ会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、その人は、名誉会員でないなら、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。異議の申し立てがあったにもかかわらず、入会が承認された場合は、被推薦者は、名誉会員でないなら、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第6節 このような選挙後に、クラブ会長は、当該会員の入会式を行い、クラブ幹事は当該会員に対して会員証を発行し、ロータリー情報資料を提供するものとする。その他、会長もしくは幹事が新会員に関する情報を RI に報

告し、会長が、当該新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を1名指名し、同新会員をクラブ・プロジェクトまたは役目に配属する。

第7節 クラブは、標準ロータリー・クラブ定款に従い、理事会により推薦された名誉会員を選ぶことができる。

(参考資料③④ P.62 P.63)

第14条 決議

クラブは、理事会によって審議される前に、本クラブを拘束するいかなる決議または提案を審議してはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第15条 議事の順序

開会宣言
来訪者の紹介
来信、告示事項およびロータリー情報
委員会報告（もしあれば）
審議未終了議事
新規議事
スピーチその他のプログラム
閉会

第16条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。但し、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に通知されなければならない。標準ロータリー・クラブ定款およびRIの定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

平成23年7月1日一部改訂

平成25年5月1日一部改訂

大和中ロータリークラブ内規

当クラブの運営を円滑にするため本内規を設ける

第1項 役員・理事及び会計監査の選挙

- (1)大和中ロータリークラブ細則（以下細則という）第3条の役員、理事及び会計監査の選挙に当たっては、会長は毎年11月の第1例会において、役員、理事及び会計監査候補者を設置することを会員に告知し、指名委員会を招集し議長を務めるものとする。
- (2)指名委員会は直前会長よりさかのぼり5名のパスト会長及び会長、会長エレクト、幹事、副幹事の9名をもって構成されるものとする。定足数は過半数とし、また選出の方法は合議制として意見の一致しない場合は無記名多数決投票制とする。会長（次々年度）、及び副会長候補者は役員及び理事の経歴を有する者の中から選出し、その他の役員、理事及び会計監査候補者は、指名の時点で1年以上のロータリー歴を有する者の中から選出する。
- (3)指名委員会は選出を終えた役員、理事及び会計監査候補者を、毎年11月の最終例会において公表する。また任務を終えた指名委員会は解散する。
但し、クラブ細則第3条第4節により必要な場合は再度設置する。
- (4)指名委員会は役員及び理事候補者の選出に当たり、次の事項に留意するものとする。
 - (イ) 人事の公平と負担の平等を図るため、役員及び理事の任期は継続して3年以上に亘らないよう配慮する。
 - (ロ) 初めに会長（次々年度）候補者を選出し、副幹事の選出に当たっては、会長（次々年度）候補者の意見を尊重する。
- (5)会長エレクトは、細則第3条第2節の会場監督選出後の最初の例会において、選挙で当選した役員、理事、会計監査のそれぞれの担当役職を、会員に公表するものとする。
- (6)細則第3条第2節の会場監督の選出に当たっては、内規第1項（4）（イ）の指名委員会の留意事項を準用するとともに、候補者には会長または幹事の経験者が望ましい。

第2項 委員会等の構成

次期理事会は、次年度の開始される3ヶ月前までに各委員会の構成を終了させ、ソングリーダーの選出も図るものとする。

第3項 任務代行の順序

例会等、クラブの運営上で担当者が欠席または不都合により任務の遂行が出来ない場合、原則として副委員長、委員の順序、それも不可能な場合直前年度の担当者から順次さかのぼる順序で代行者を定めるものとする。

第4項 クラブ協議会の出席

本クラブにおけるクラブ協議会は、委員長のみにとどまらず原則として会員全員が出席するものとする。

第5項 新会員の所属委員会及び会合出席義務

新会員の所属する委員会は理事会で決定する。新会員は各委員会が開く会合及び勉強会に積極的に出席することとする。

第6項 諮問委員会

- (1)本クラブに会長及び歴代会長をもって構成する諮問委員会を置く。
- (2)諮問委員会の委員長は会長が務め、任期は1年とする。
- (3)諮問委員会は、理事会の諮問に対し答申を行うものとする。
- (4)理事会は上記答申を尊重しなければならないが、必ずしも拘束されるものではない。

第7項 事務局の出張費等

事務局員がクラブ行事のため出張するときは、旅費等の実費をクラブが負担し支給する。

第8項 各種記念品または謝礼

- (1)クラブが依頼したゲストスピーカーに対しては、会長が謝辞を行い、謝礼金または記念品を贈呈する。尚、金額については、社会通念上相応の金額とし、20,000円を超える場合には理事会に諮り決定する。
 - (イ) 特別の場合は理事会で決定するものとする。
- (2)直前会長及び直前幹事となった時点において次のものを贈る。
 - (イ) 直前会長にダイヤ入りバッヂ
 - (ロ) 直前幹事にルビー入りバッヂ

第9項 慶弔規定

(1)慶事の場合の祝い金等は次の区分とする。

(イ) 会員及びその実子の結婚

クラブより…………… 20,000円

(ロ) 会員実子誕生

クラブより…………… 20,000円

(ハ) 会員の新規営業所・社屋・工場・店舗等の新築、開設

クラブより…………… 10,000円又は花輪かそれに代わる記念品

(ニ) 会員の自宅新築

クラブより…………… 10,000円又はそれに代わる記念品

(ホ) 会員が国の機関から功労表彰を受けたとき

クラブより…………… 記念品 (5,000円相当)

(ヘ) その他理事会が必要と認めた時は適宜決定する

(2)弔事の場合の弔慰金は次の区分とし、会長は速やかに全会員に連絡するものとする。

(イ) 会員死亡の場合

クラブより花環一基、弔電及び会員1人拠金10,000円

(ロ) 会員の配偶者死亡の場合

クラブより花環一基、弔電及び会員1人拠金 5,000円

(ハ) 会員の第一親等血族死亡の場合

クラブより花環一基、弔電及び会員1人拠金 2,000円

(ニ) 会員同居一親等姻族死亡の場合

クラブより花環一基、弔電及び会員1人拠金 1,000円

(ホ) その他理事会が必要と認めたとき

クラブより花環または弔電

(3)傷病または被災の場合の見舞金は次の区分とする。

(イ) 会員及び配偶者が傷病により1ヶ月以上欠席または入院のとき

クラブより…………… 10,000円

(ロ) 火災等での被災のとき

自宅または事業所 クラブより…………… 30,000円

(ハ) その他理事会が必要と認めたときは適宜決定する

(4)退会者の扱いを含め上記以外で必要と思われるときは、その都度理事会において決定する。

(5)上記慶弔見舞金などに対する返礼は一切行わないこととする。

第10項 表彰

本クラブは、理事会が必要と認めたときは、クラブに功績のあった会員に対し表彰できるものとする。

第11項 皆出席表彰規定

(1)本クラブ入会後1年又はそれ以上の皆出席者には次の通り表彰を行う。

欠席した場合は該当例会月を除き、翌月より積算した年数によって行う。

(2)出席表彰は次の年度毎に行う。

1年, 3年, 5年, 7年, 10年, 以後は5年毎とする。

(3)1年と3年はスナップ止め出席バッヂとし、他の記念品については出席委員会で検討し、理事会に諮り決定する。

第12項 内規の改廃

本内規の改廃は、定足数を満たす理事会の3分の2以上の賛成のもとに改廃することができる。

昭和53年8月10日 制定

昭和57年8月12日 一部改正

昭和61年5月8日 一部改正

昭和63年11月17日 一部改正

平成2年1月1日 一部改正

平成7年2月9日 一部改正

平成8年5月23日 一部改正

平成10年7月1日 一部改正

平成12年6月15日 一部改正

平成14年7月1日 一部改正

平成15年6月12日 一部改正

平成19年12月6日 一部改正

平成24年6月14日 一部改正

平成25年5月1日 一部改正

理事役員等の選挙手順

[定 義]

1. 理事会：本クラブの理事会…本クラブの管理主体、会員 12 名により成る。会長・副会長・会長エレクト・幹事・会計・会場監督（S A A）・直前会長・理事 5 名（12 名）
2. 理事：本クラブの理事会メンバー
3. 議長：会長…細則第 4 条第 1 節 「会長。本クラブの会合および理事会の会合について議長を務め…」
4. 指名委員会…内規第 1 項（2）「指名委員会は直前会長より遡り 5 名のパスト会長及び会長・会長ノミニー・幹事・副幹事の 9 名をもって構成されるものとする。」
5. 資格要件…内規第 1 項（2）役員・理事及び会計監査の選挙「会長（次々年度）および副会長候補者は役員及び理事の経歴を有する者の中から選出し、その他の役員・理事及び会計監査候補者は指名の時点で 2 年以上のロータリー歴を有する者の中から選出する。
6. 選出の留意事項…内規第 1 項（4）（イ）人事の公平と負担の平等を図るため、役員・理事の任期は継続して 3 年以上にならないよう配慮する。

	項目	時期	主導者	相手方	内 容	根拠規定
1	指名の求め	11 月第一例会 (選挙 1 カ月前の例会)	指名委員会 議長 (会長)	指名委員会	会長(次々年度)・副会長・幹事・会計及び 5 名の理事と会計監査の指名を求める。	細第 3 条 第 1 節
2	選挙の告知 指名委員会の招集	11 月第一例会	会長	会員	会長は毎年 11 月の第 1 例会において、役員・理事及び会計監査候補者を設置することを会員に告知し、指名委員会を招集し議長を務めるものとする。	内第 1 項 (1)
3	指名委員会の開催	選挙告知後	指名委員会 議長 (会長)	指名委員	選出の方法は合議制。意見の一致しない場合は、無記名多数決投票制。当クラブは、まず、会長ノミニー候補者を指名委員会が指名し、副幹事候補者はノミニーの意見を尊重する。慣例で次年度役員・理事及び会計監査候補者は会長エレクトの意見を尊重している。	内第 1 項 (2・4)
4	役員・理事等の推薦	指名委員会開催後すみやかに	会長エレクト	指名委員会	会長エレクトは、既に決まっている会長・幹事・直前会長・会長ノミニー・副幹事候補者以外の副会長・会計・理事 4 名及び会計監査候補者を推薦する。	
5	役員・理事等の公表	11 月最終例会	指名委員会 議長 (会長)	会員	指名委員会は選出を終えた役員・理事及び会計監査候補者を、毎年 11 月の最終例会において公表する。	内第 1 項 (3)
6	指名委員会の解散	11 月最終例会	指名委員会 議長 (会長)	会員	任務を終えた指名委員会は解散する。	内第 1 項 (3)
7	役員・理事等の選挙	12 月第一例会	会長	会員	適法に行われた指名は各役職ごとにアルファベット順に投票用紙に記載されて年次総会において投票する。	細第 3 条 第 1 節
8	会場監督の選任	選挙により次年度理事会構成が決定した 1 週間以内	会長エレクト	次年度理事会	選挙によって決定した次年度理事会は、1 週間以内に会合してクラブ会員の中から会場監督を選任する。選出に当たっては選出に当たる留意事項を準用する。候補者には会長・幹事の経験者が望ましい。	細第 3 条 第 2 節内 第 1 項 (4)イ(6)
9	担当役職の公表	会場監督選出後の最初の例会	会長エレクト	会員	会長エレクトは、会場監督選出後の最初の例会に選挙で当選した役員・理事・会計監査のそれぞれの担当役職を会員に公表する。	内第 1 項 (5)
10	各委員会の構成、ソングリーダー選出	次年度開始 3 カ月前	会長エレクト	次期理事会	次期理事会は次年度の開始される 3 カ月前までに各委員会の構成を終了させ、ソングリーダーの選出も図るものとする。	内第 2 項

大和中ロータリークラブ青少年育成基金運用基準

[基金の経移]

この基金は、当クラブの第 6 代会長 長谷川清一様の御逝去のおり、ご遺族の方から寄付をされたことがきっかけとなっています。当時の理事会は長谷川様の多大なる功績に感謝し、彼が大和市の青少年の育成に尽力していたことからその遺徳を偲び、本基金を作りました。その後彼の遺志に賛同する方々が積み増していき現在に至っています。

[基金の目的]

故長谷川清一氏の遺志を発展させ、継続的に地域を中心にした青少年の育成事業を行うために設立する。

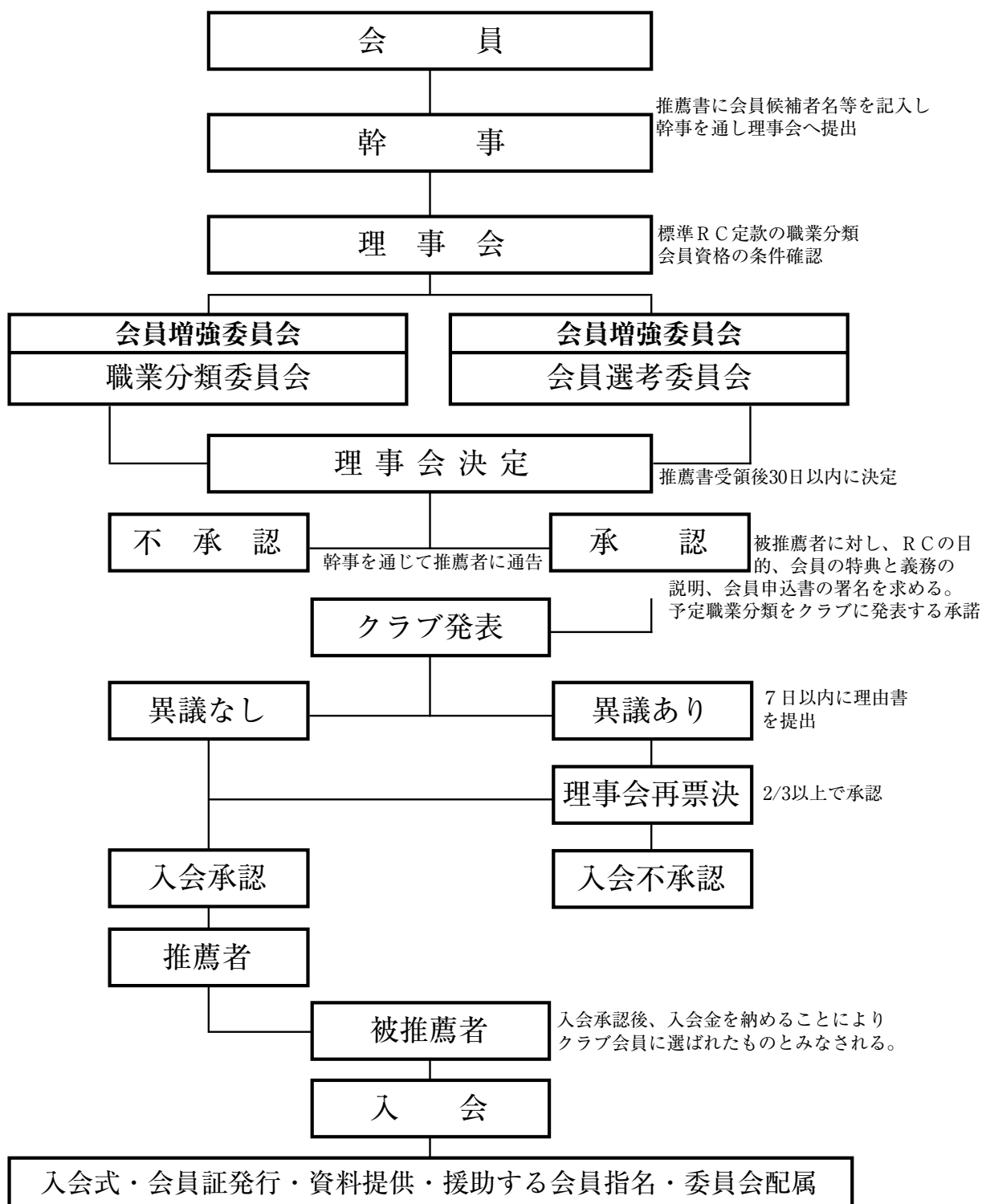
(具体的目的)

1. 地域の青少年による文化・教養・スポーツ等の社会教育活動を助成し、もって青少年の健全なる育成に寄与することを目的とします。
2. 地域の経済的に恵まれない家庭の青少年に、奨学金を支給することにより、博愛平等の心に充ち、敬謙篤実な社会人を育成することを目的とします。

[基金の運営方針]

1. 故長谷川清一氏の遺志を更に発展させるとともに、地域の青少年の育成事業に役立てるため、現在の基金をもとに、奉仕会計予算から基金への繰り入れ等により、基金の安定化を図る。
2. 運用にあたっては、毎年継続事業並びに当クラブの周年記念事業で目的に合致する事業を行う場合などに、理事会の承認を得て基金より取り崩し、事業に用途するものとするが、全会員の協力により、我がクラブの青少年育成奉仕事業を永続的に発展させることとする。

会員の選考方法（選挙手順）



会員の選挙手順

[定 義]

1. 正会員：国際 R 定款第 5 条第 2 節「クラブは、善良な成人であり、職業上および地域社会で良い評判をうけている以下のような正会員によって構成される。(続きは手続要覧参照)」
2. 職業分類：標準 R C 定款第 8 条第 1 ～ 2 節「各会員は、その事業、(省略) 一般世間がそのように認めている事業活動を示すもの」「制限。5 名またはそれ以上の正会員がいる職業からは、正会員を選出してはならない。」
 会員身分：標準 R C 定款第 7 条第 1 ～ 8 節「種類。会員は正会員及び名誉会員の 2 種類」「二重会員の禁止」「公職に就いている人。当該公職の職業分類の下に正会員の資格を有しないものとする。この制約は学校・大学その他の教育施設に奉職する者または裁判官に任命された者には適用されない。」

	項目	主導者	相手方	内 容	根拠規定
1	正会員の推薦	推薦正会員	幹事 理事会	本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の指名は、書面をもって本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。	細則第 13 条 第 1 節
2	会員資格条件の充足	理事会		理事会は、その被推薦者が標準 R C 定款の職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを確認するものとする。	細則第 13 条 第 2 節
3	推薦状の承認	理事会	推薦者	理事会は、推薦状の提出後 30 日以内にその承認または不承認を決定し、クラブ幹事を通じて、推薦者に通告しなければならない。	細則第 13 条 第 3 節
4	①被推薦者へ目的等の説明 ②会員申込書の署名依頼 ③職業分類をクラブに発表することの承諾	理事会	被推薦者	理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。この説明の後、被推薦者に対し、会員申込書に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することの承諾を求めなければならない。	細則第 13 条 第 4 節
5	被推薦者の承認と選出	理事会	クラブ会員 被推薦者	(被推薦者についての発表後 7 日以内に、理事会がクラブ会員の誰からも推薦に対し、理由を付記した書面による異議申し立てを受理しない場合) (入会が承認がされたものとして) 細則に定める入会金を納めることにより会員に選ばれたもの(選出)とみなされる。 (理事会に対し異議申し立てがあった場合) 理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。入会が承認された場合は、被推薦者は、所定の入金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。	細則第 13 条 第 5 節
6	①入会式 ②情報資料の提供 ③RIへの報告 ④援助会員の指名 ⑤役目の配属	会長 幹事	新会員 R I	選挙後に、クラブ会長は、当該会員の入会式を行い、クラブ幹事は当該会員に対して会員証を発行し、ロータリー情報資料を提供するものとする。 会長もしくは幹事が新会員に関する情報を R I に報告し、会長が、当該新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を 1 名指名し、同新会員をクラブ・プロジェクトまたは役目に配属する。	

2013～2014年度
国際ロータリーテーマ

